

福井県内企業景気動向調査 調査結果

(2021年7～9月 当期(実績))
(2021年10～12月 次期(見通し))

株式会社 福井銀行
株式会社 福井キャピタル&コンサルティング

【調査の目的】

福井県内企業のみなさまにアンケート調査を行うことにより、景気動向(県内企業の現在の経営環境や今後の見通し)について情報提供いただき、共有することで、今後のみなさまの経営に少しでも役立てていただくことを目的としております。

【調査概要】

- ・調査対象企業 福井県内の企業 1,354社
- ・回答企業 367社(回答率27.1%)
- ・調査時期 2021年9月初旬

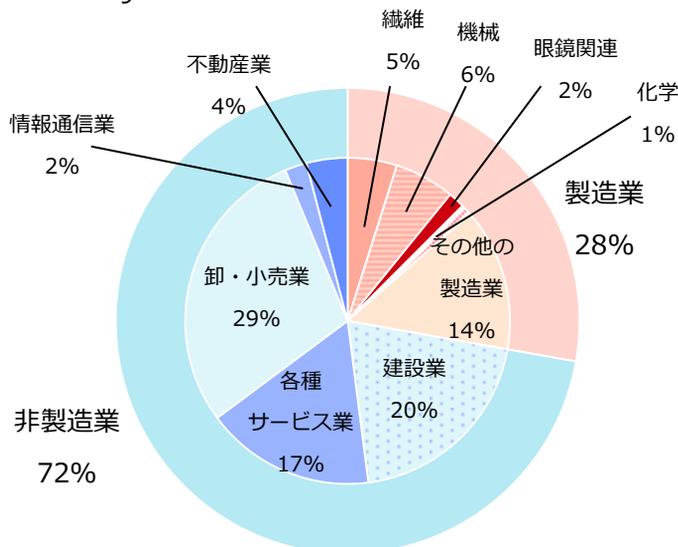
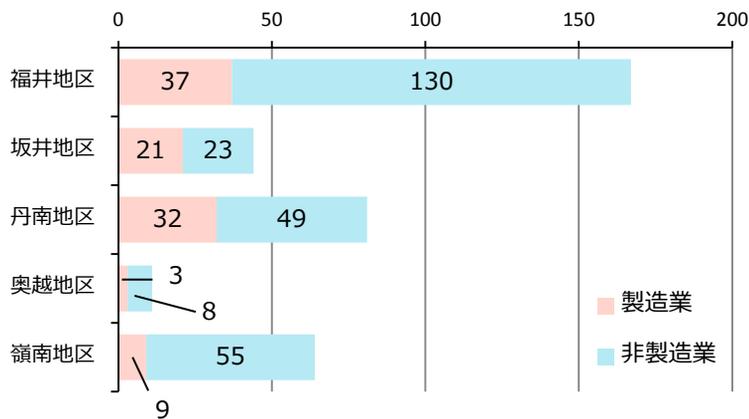
【D I 調査について】

このアンケート調査では、D I (Diffusion Index)による分析を行っております。D Iは、「好転」と回答した企業の割合と「悪化」と回答した企業の割合との差を求めたものです。景気が良い場合はプラス幅が大きくなり、景気が悪化している場合はマイナス幅が大きくなります。
※ 原材料価格、在庫状況については、「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合との差を求めており、上記の判断とは逆の傾向を示します。

【特別調査について】

今回は、afterコロナを見据えた事業の成長に関する調査を行っております。ご参照の上、お役立ていただければ幸いです。

【回答企業の概要】



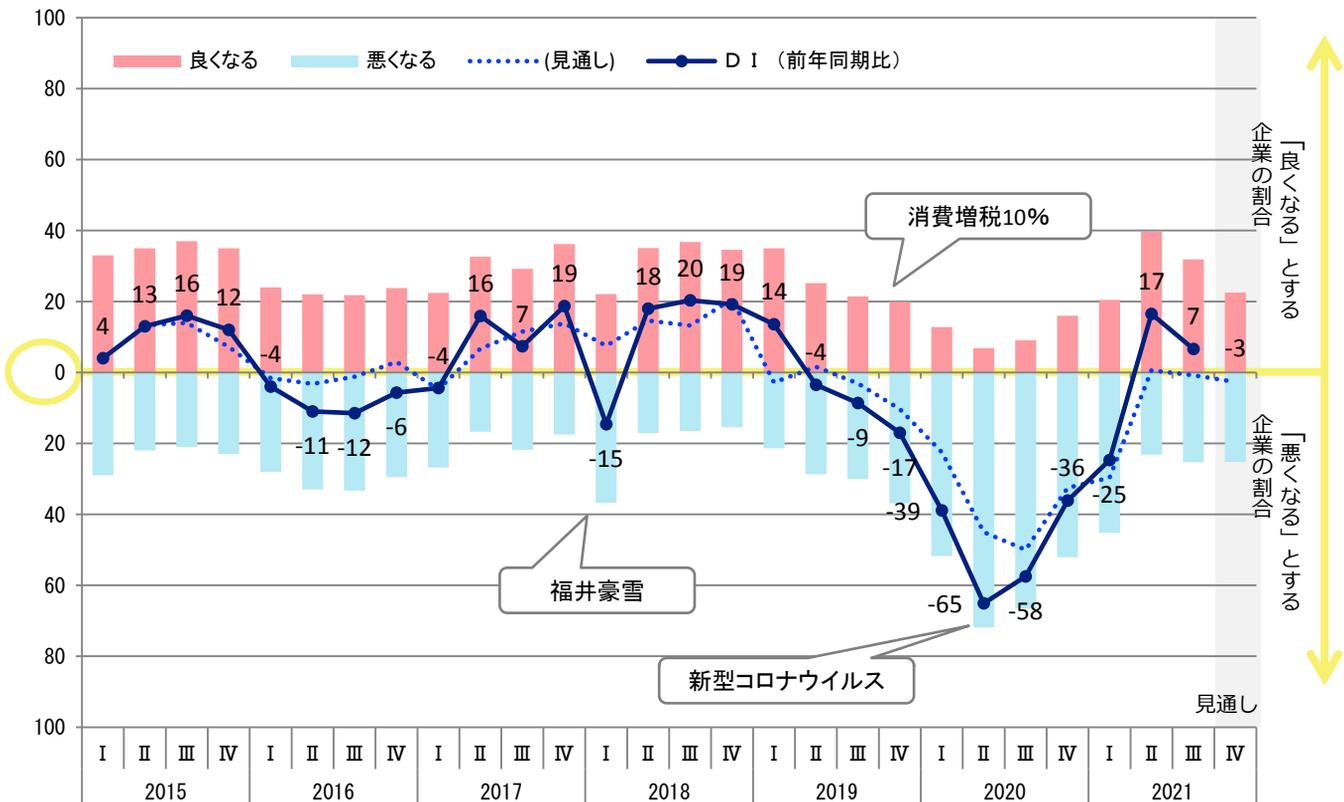
コロナ禍以前の水準に回復しつつも、原材料の高騰や品不足の影響が懸念される。

全体の景況判断は、前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、製造業を中心に売上や収益は回復傾向にあるものの建設業や卸・小売業は低い水準で推移し、業績判断D Iは前回調査のプラス17から低下したもののプラス7となり、プラス圏を維持した。前回予想のマイナス1を上回った。また、来期はマイナス3を予想し、緩やかな回復傾向にあるものの先行きの見通しは不透明で、マイナス圏に転じる見通しである。

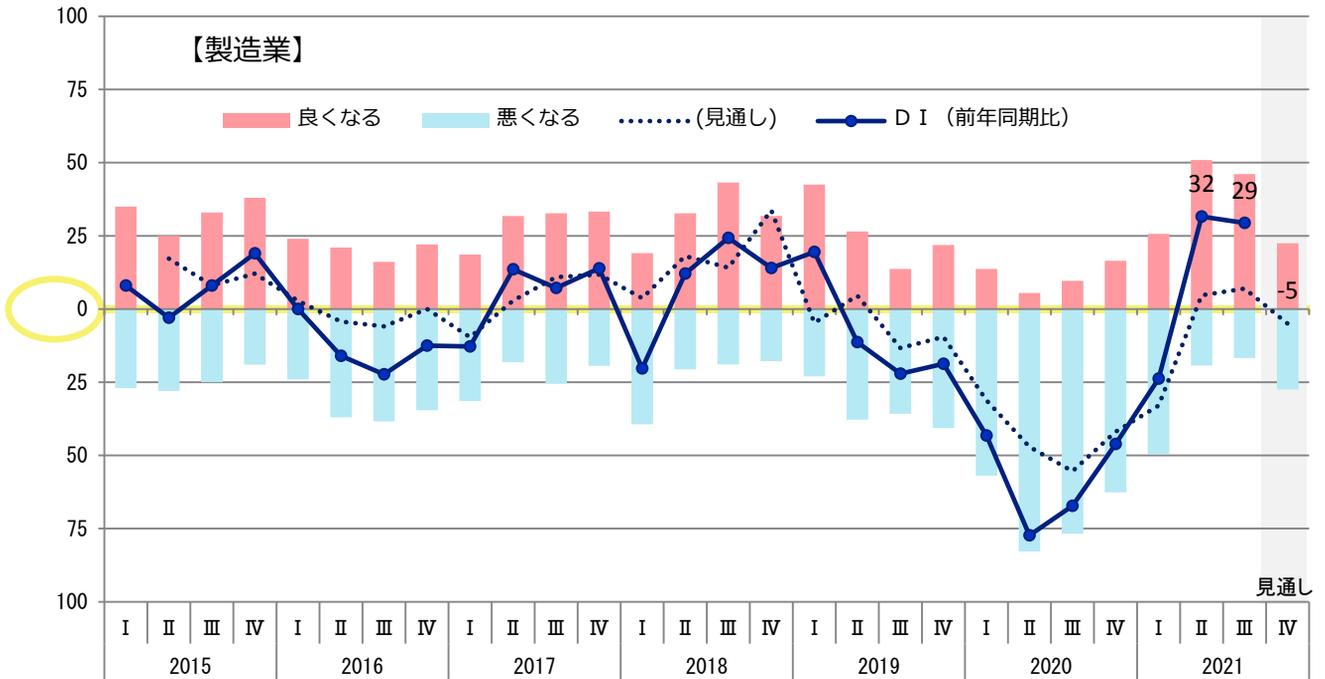
製造業、非製造業を問わず、原材料(仕入・資材)価格が高い水準で推移しているものの製(商)品販売価格はその水準に及ばない傾向となり、原材料(仕入・資材)価格の高騰を製(商)品販売価格に転嫁できていない傾向がうかがえる。

個別企業のコメントでは、前回に引き続き新型コロナウイルスによる社会や経済への影響を懸念する意見や、原材料(仕入・資材)価格の高騰や品不足を懸念する意見が多く見られた。

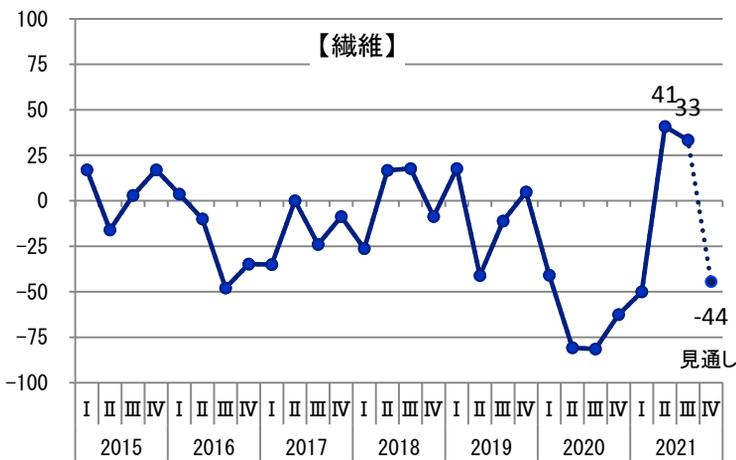
●自社の業況判断D Iの推移



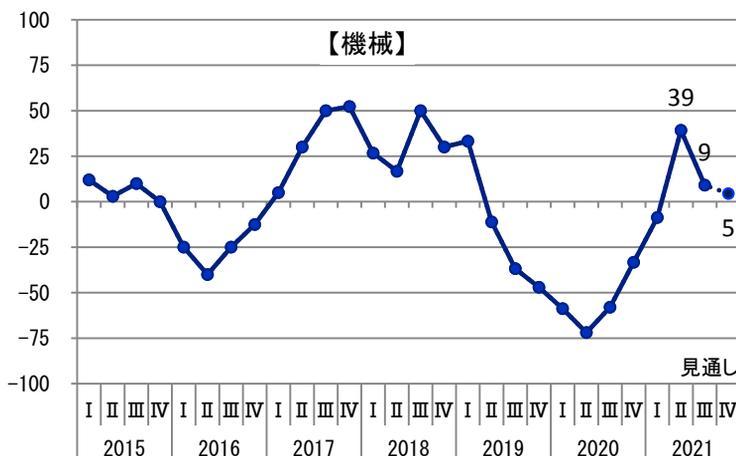
※ I : 1~3月期 II : 4~6月期 III : 7~9月期 IV : 10~12月期



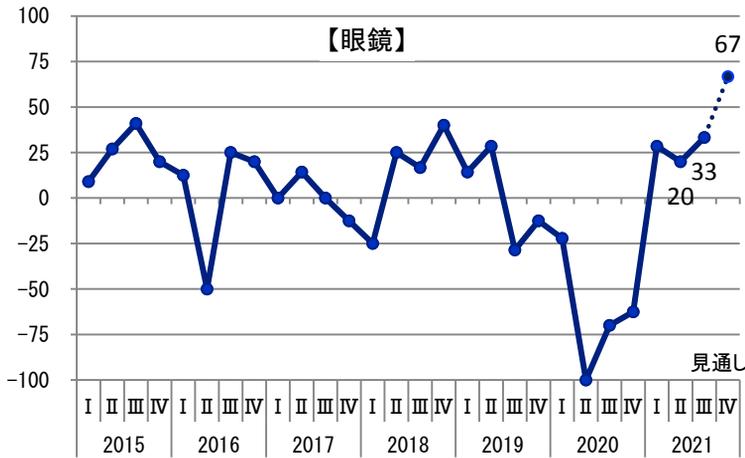
- 製造業の業況判断DIは、前回調査のプラス32からやや低下したもののプラス29となり、2四半期連続でプラス圏を維持した。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



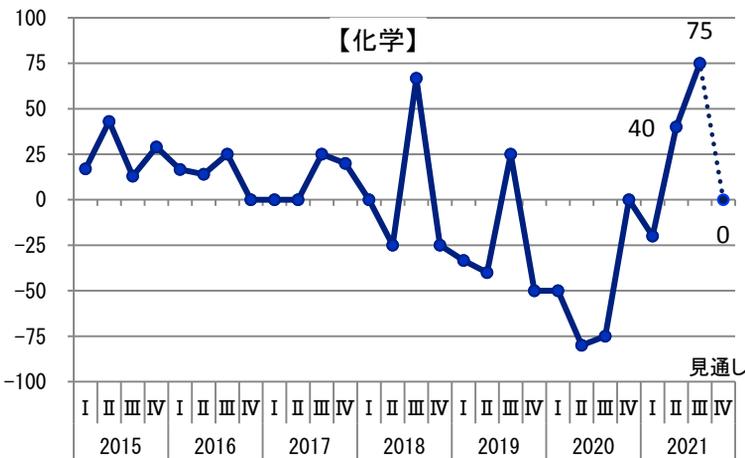
- 繊維は、前回調査のプラス41から低下したもののプラス33となり、プラス圏を維持した。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、高い水準となった。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



- 機械は、前回調査のプラス39から大幅に低下したもののプラス9となり、プラス圏を維持した。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、コロナ禍以前の水準に回復した。
- 先行きは、低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。



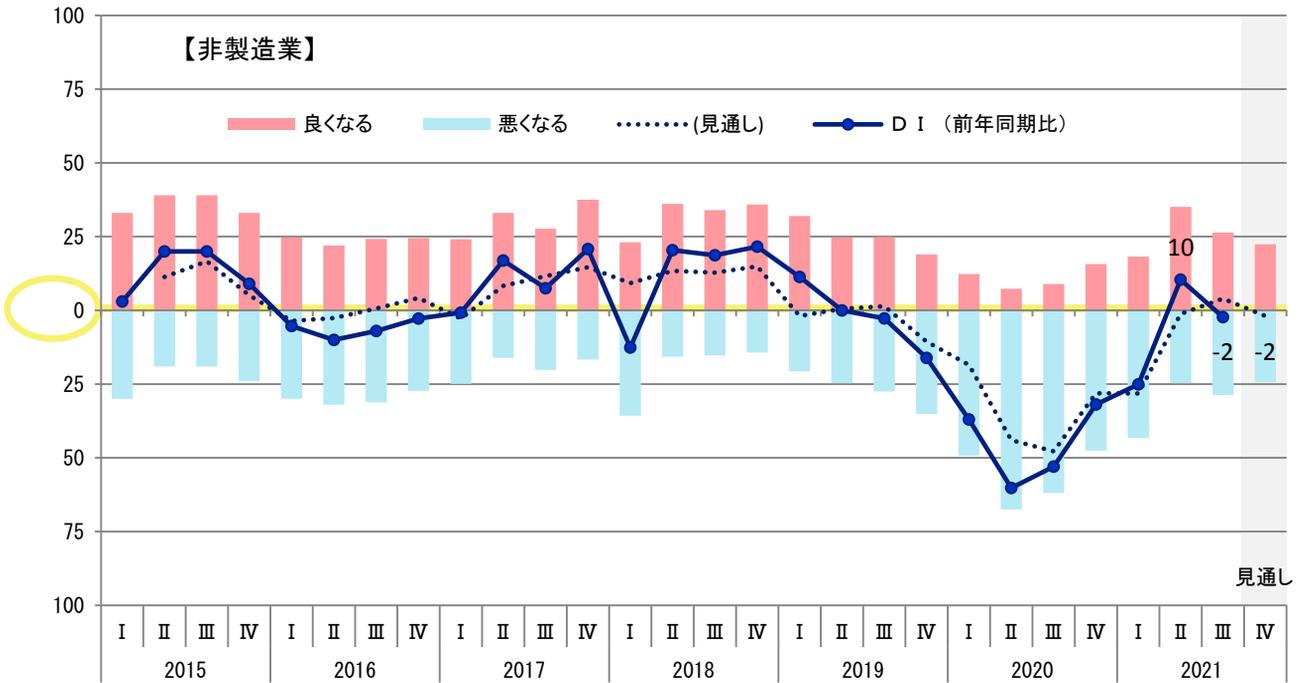
- 眼鏡は、前回調査のプラス20から上昇しプラス33となり、プラス幅を広げた。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、高い水準となった。
- 先行きは、大幅な上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。



- 化学は、前回調査のプラス40から大幅に上昇しプラス75となり、プラス幅を広げた。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、高い水準となった。
- 先行きは、大幅な低下を予想しプラスマイナス0となる見通しである。



- その他製造業は、前回調査のプラス24から上昇しプラス33となり、プラス幅を広げた。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、高い水準となった。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



- 非製造業の業況判断D I は、前回調査のプラス10から低下しマイナス2となり、マイナス圏に転じた。
- 先行きは、横ばいを予想しマイナス圏に留まる見通しである。



- 建設業は、前回調査のマイナス13からほぼ横ばいのマイナス14となり、マイナス圏に留まった。
- 前年度のコロナ禍の影響は比較的少なかったが、足踏み状態となった。
- 先行きは、低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。



- 各種サービス業は、前回調査のプラス35から大幅に低下しマイナス2となり、マイナス圏に転じた。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、コロナ禍以前の水準に回復した。
- 先行きは、上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。



- 卸・小売業は、前回調査のプラス9から低下しマイナス1となり、マイナス圏に転じた。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、コロナ禍以前の水準に回復した。
- 先行きは、上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。



- 情報通信業は、前回調査のプラス25から大幅に上昇しプラス50となり、プラス幅を広げた。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、高い水準となった。
- 先行きは、大幅な低下を予想しプラスマイナス0となる見通しである。



- 不動産業は、前回調査のプラス20から低下したもののプラス13となり、プラス圏を維持した。
- 前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増もあり、コロナ禍以前の水準に回復した。
- 先行きは、横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。



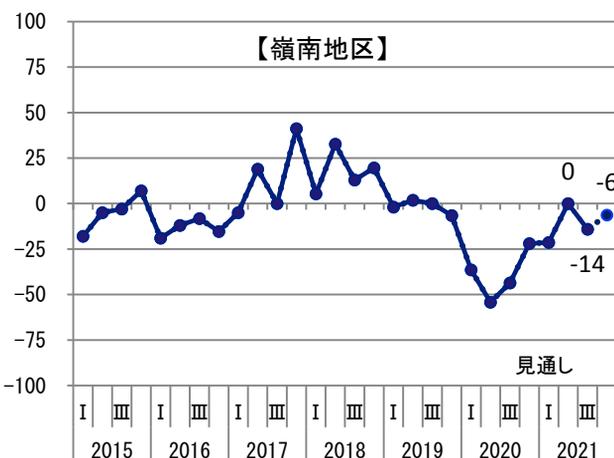
- 福井地区は、前回調査のプラス21から大幅に低下したもののプラス8となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

- 坂井地区は、前回調査のプラス29から低下したもののプラス23となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



- 丹南地区は、前回調査のプラス15から低下したもののプラス10となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、ほぼ横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。

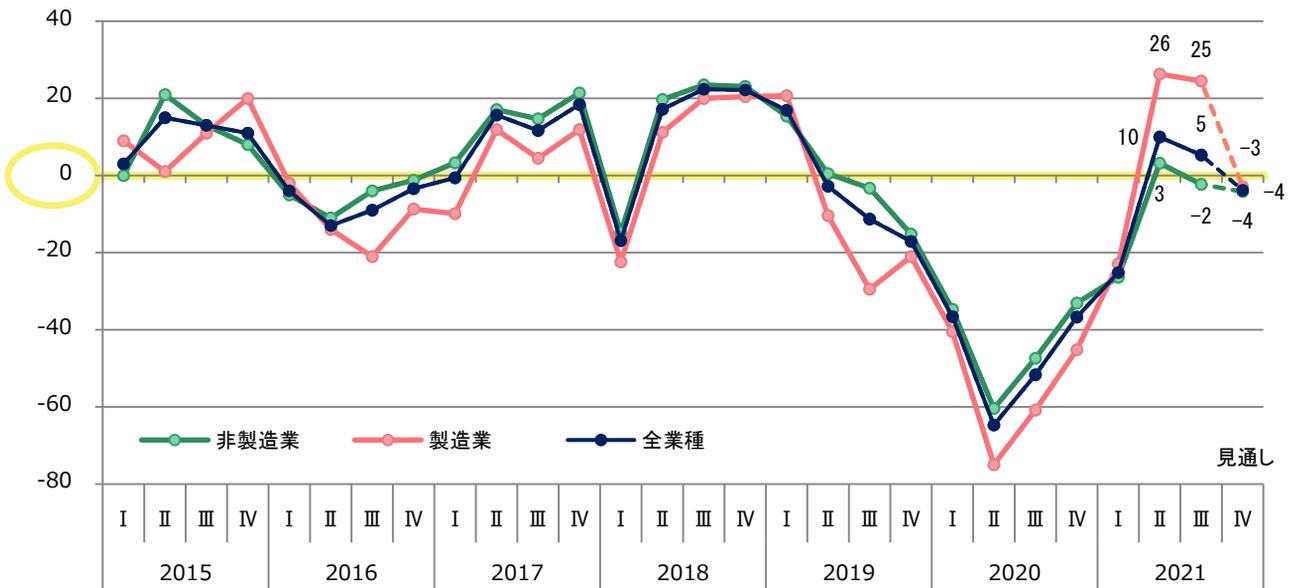
- 奥越地区は、前回調査のプラス13から低下したもののプラス9となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



- 嶺南地区は、前回調査のプラスマイナス0から大幅に低下しマイナス14となり、マイナス圏に転じた。
- 先行きは、上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通しである。

売上(工事)高

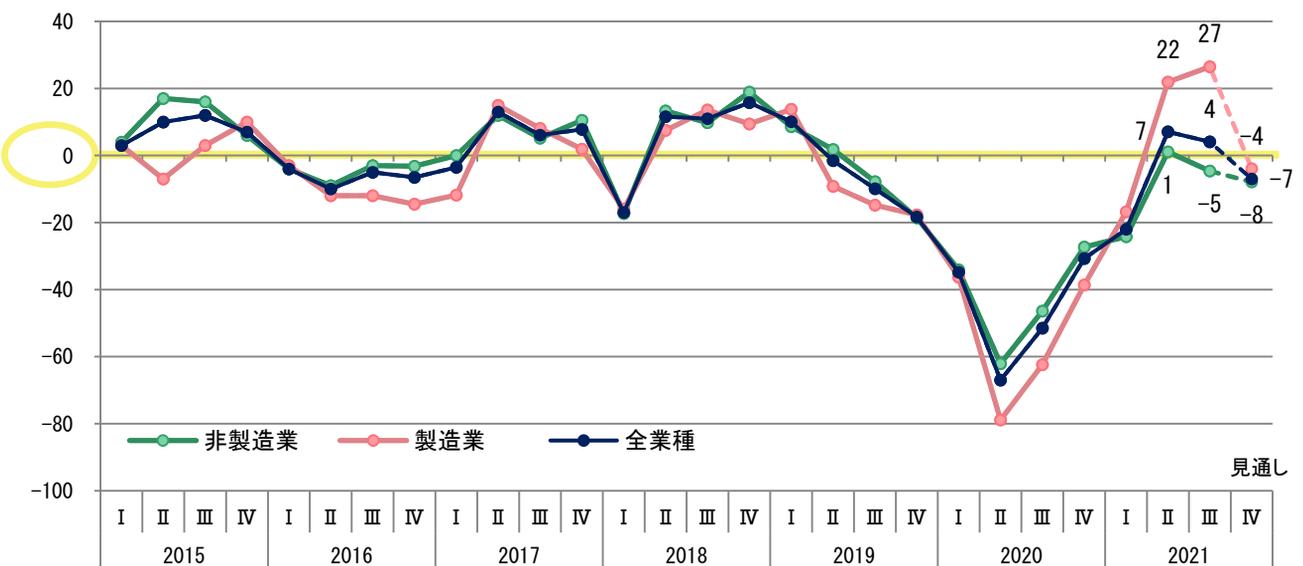
増加するー減少する



- 売上(工事)高D Iは、前回調査から低下したもののプラス5となり、プラス圏を維持した。
- 業種別にみると、製造業は前回調査からほぼ横ばいとなりプラス圏を維持した。非製造業は前回調査から低下しマイナス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。非製造業はやや低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。

収益状況

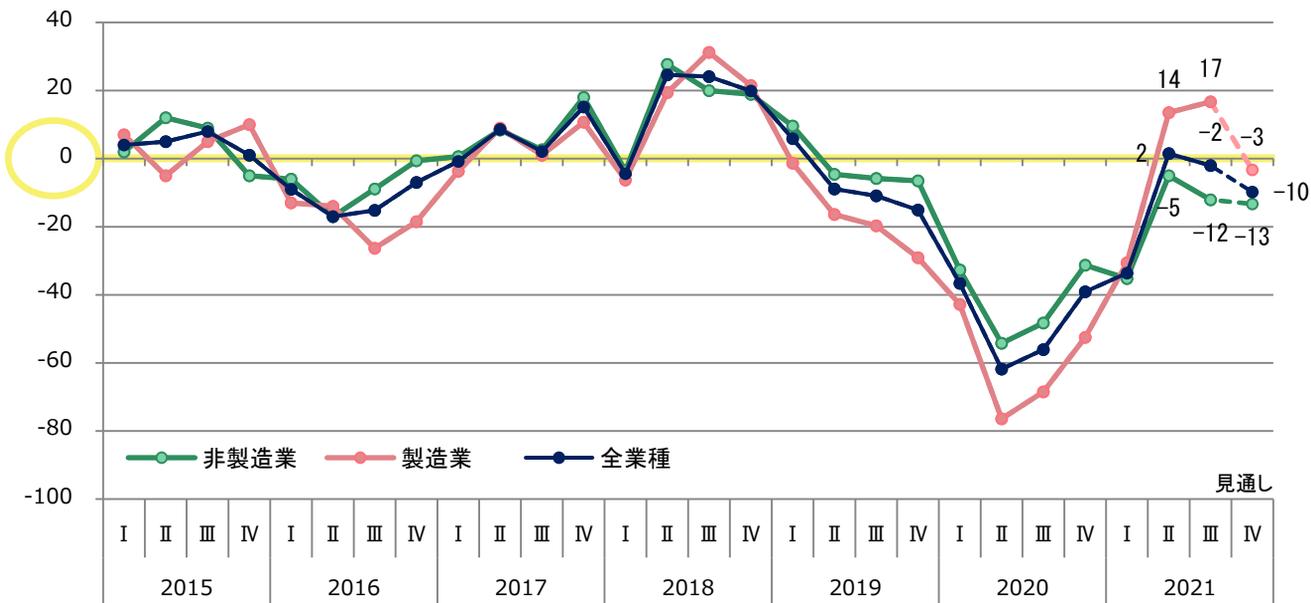
良くなるー悪くなる



- 収益状況D Iは、前回調査からやや低下したもののプラス4となり、プラス圏を維持した。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。非製造業は前回調査から低下しマイナス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。非製造業はやや低下を予想しマイナス圏に留まる見通しである。

受注残高

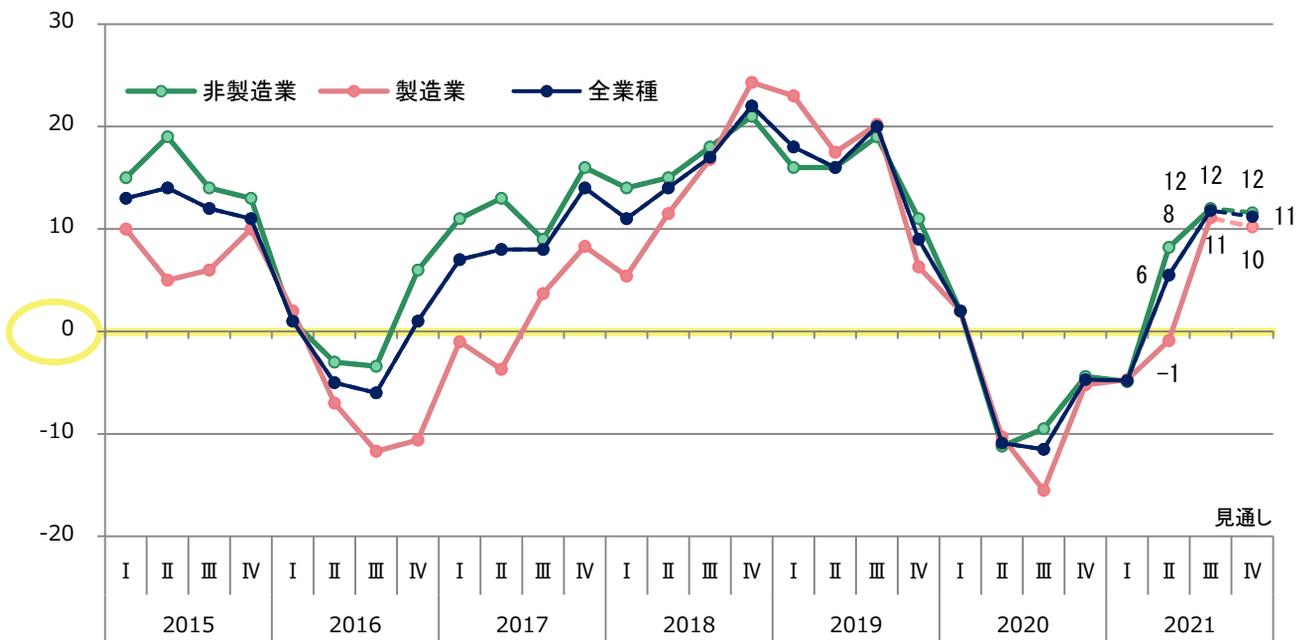
多い—少ない



- 受注残高D Iは、前回調査からやや低下しマイナス2となり、マイナス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査からやや上昇しプラス幅を広げた。非製造業は前回調査から低下しマイナス幅を広げた。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。非製造業はほぼ横ばいを予想しマイナス圏に留まる見通しである。

製(商)品販売価格

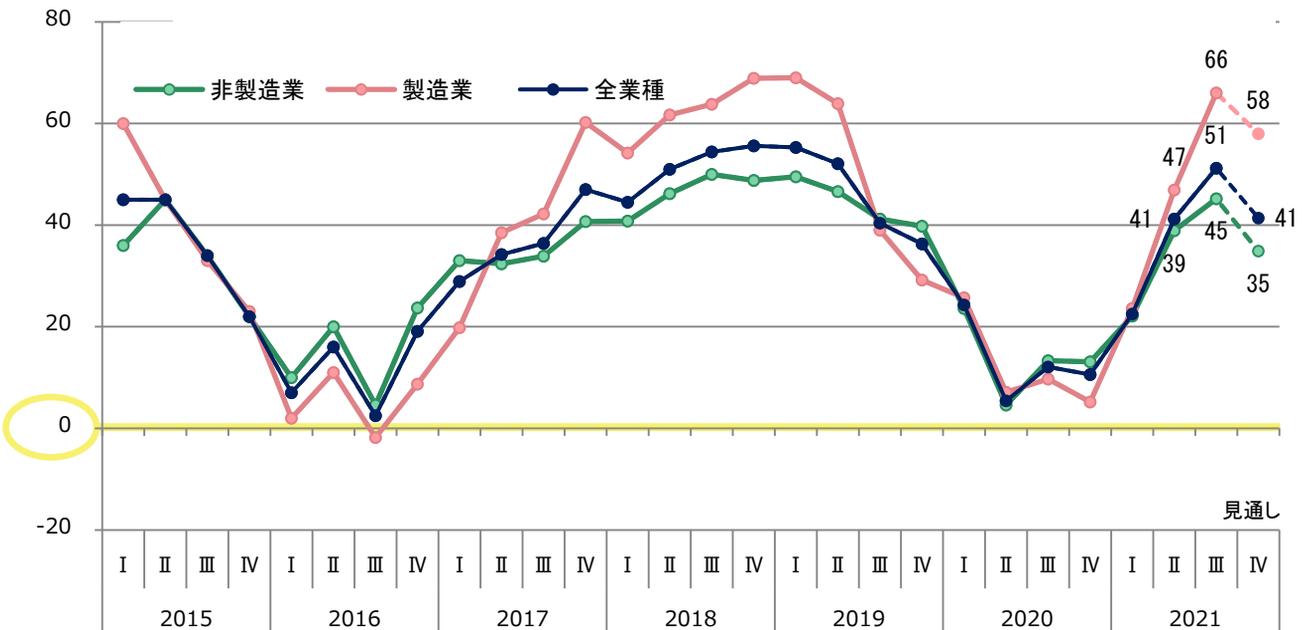
上昇—低下



- 製(商)品販売価格D Iは、前回調査から上昇しプラス12となり、プラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇しプラス圏に転じた。非製造業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、製造業はほぼ横ばいを予想しプラス圏を維持する見通し。非製造業は横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。

原材料(仕入・資材)価格

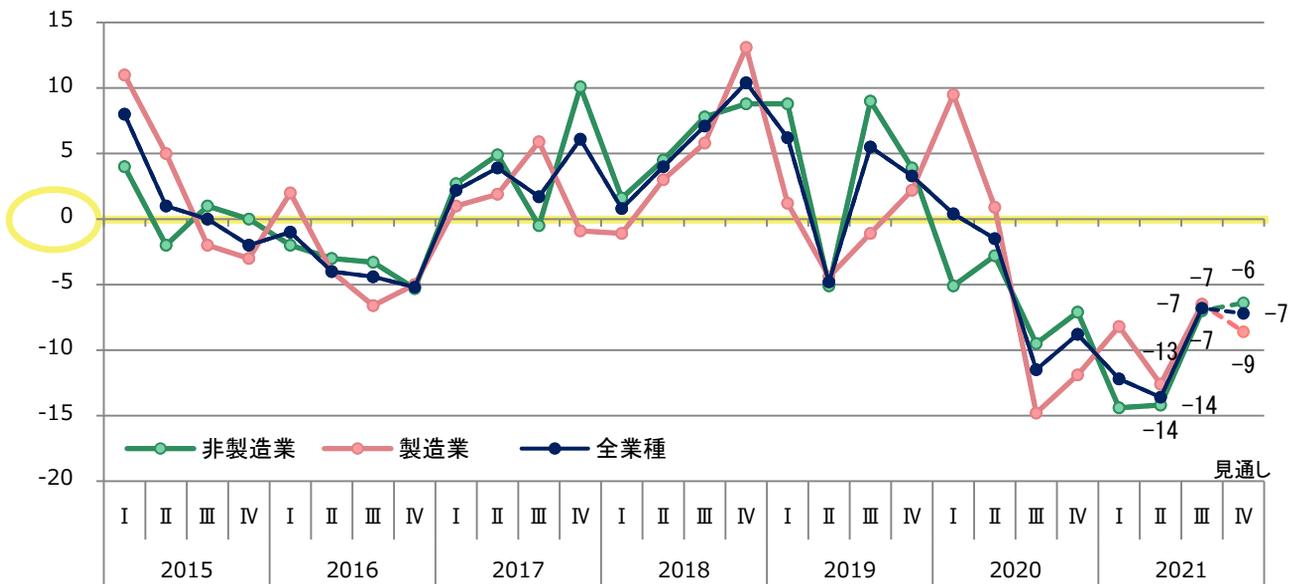
上昇—低下



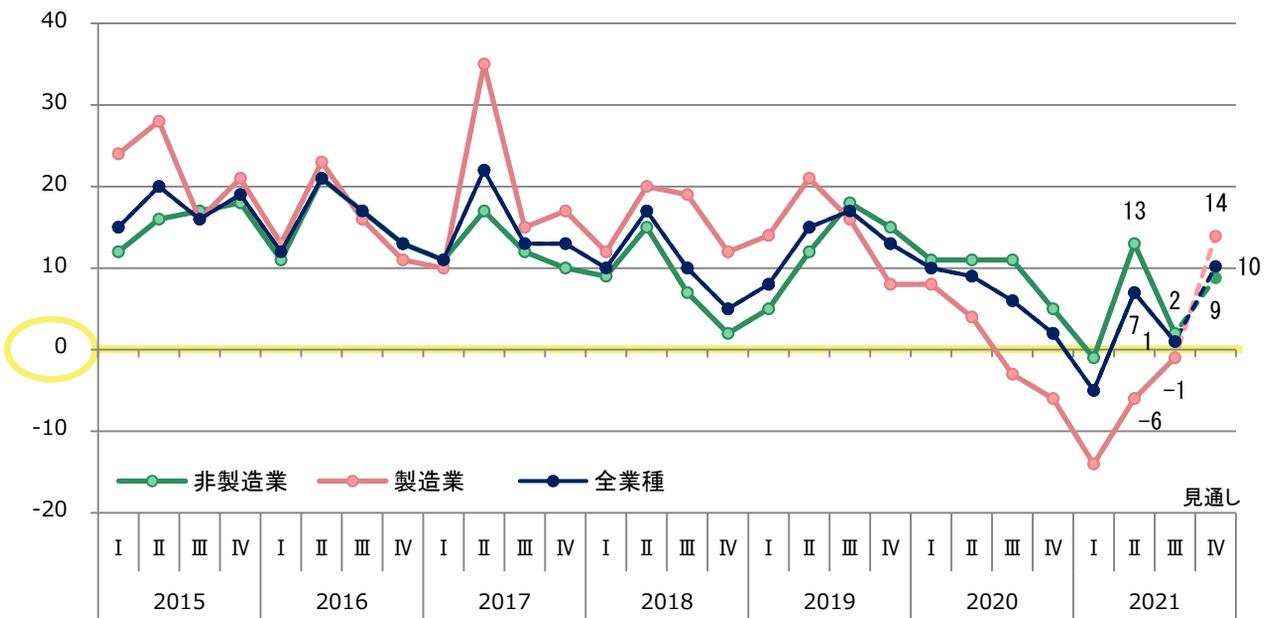
- 原材料(仕入・資材)価格D Iは、前回調査から上昇しプラス51となり、依然として高い水準でプラス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業は大幅に上昇し依然として高い水準でプラス圏に留まった。非製造業は前回調査から上昇し依然として高い水準でプラス圏に留まった。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに低下を予想するもののプラス圏に留まる見通しである。

在庫

多い—少ない

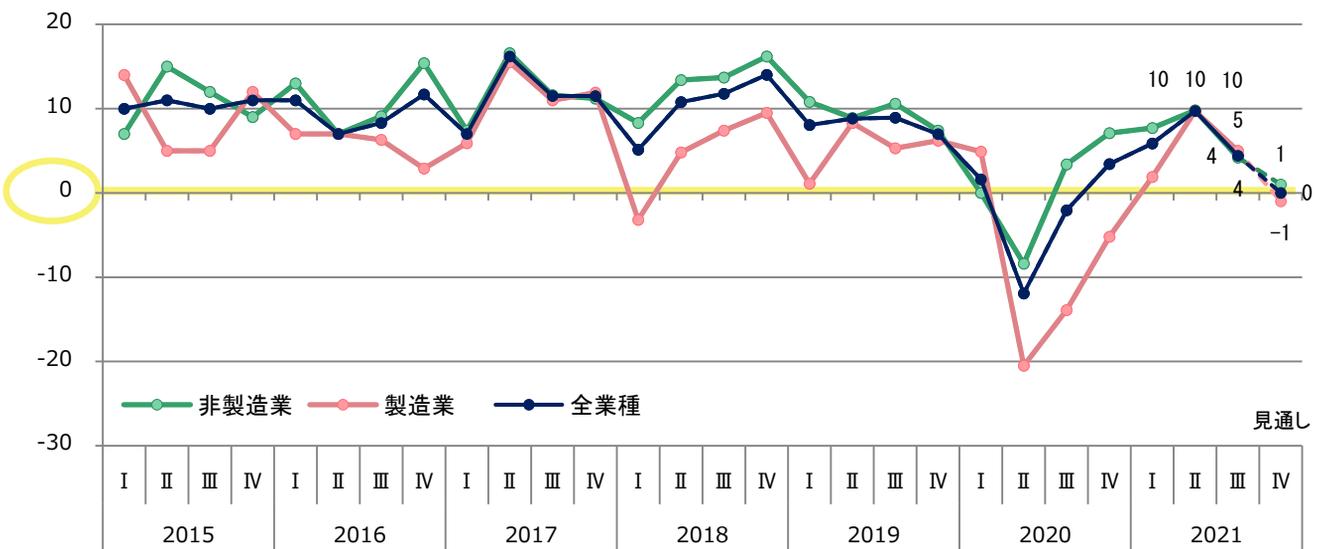


- 在庫D Iは、前回調査から上昇したもののマイナス7となり、マイナス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から上昇したもののマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業はやや低下を予想しマイナス圏に留まる見通し。非製造業はほぼ横ばいを予想しマイナス圏に留まる通しである。



- 雇用者数D I は、前回調査から低下したもののプラス1となり、プラス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇したもののマイナス圏に留まった。非製造業は前回調査から低下したもののプラス圏に留まった。
- 先行きは、製造業は大幅な上昇を予想しプラス圏に転じる見通し。非製造業は上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

資金繰り



- 資金繰りD I は、前回調査から低下したもののプラス4となり、プラス圏を維持した。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともには前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。
- 先行きは、製造業は低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。非製造業はやや低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

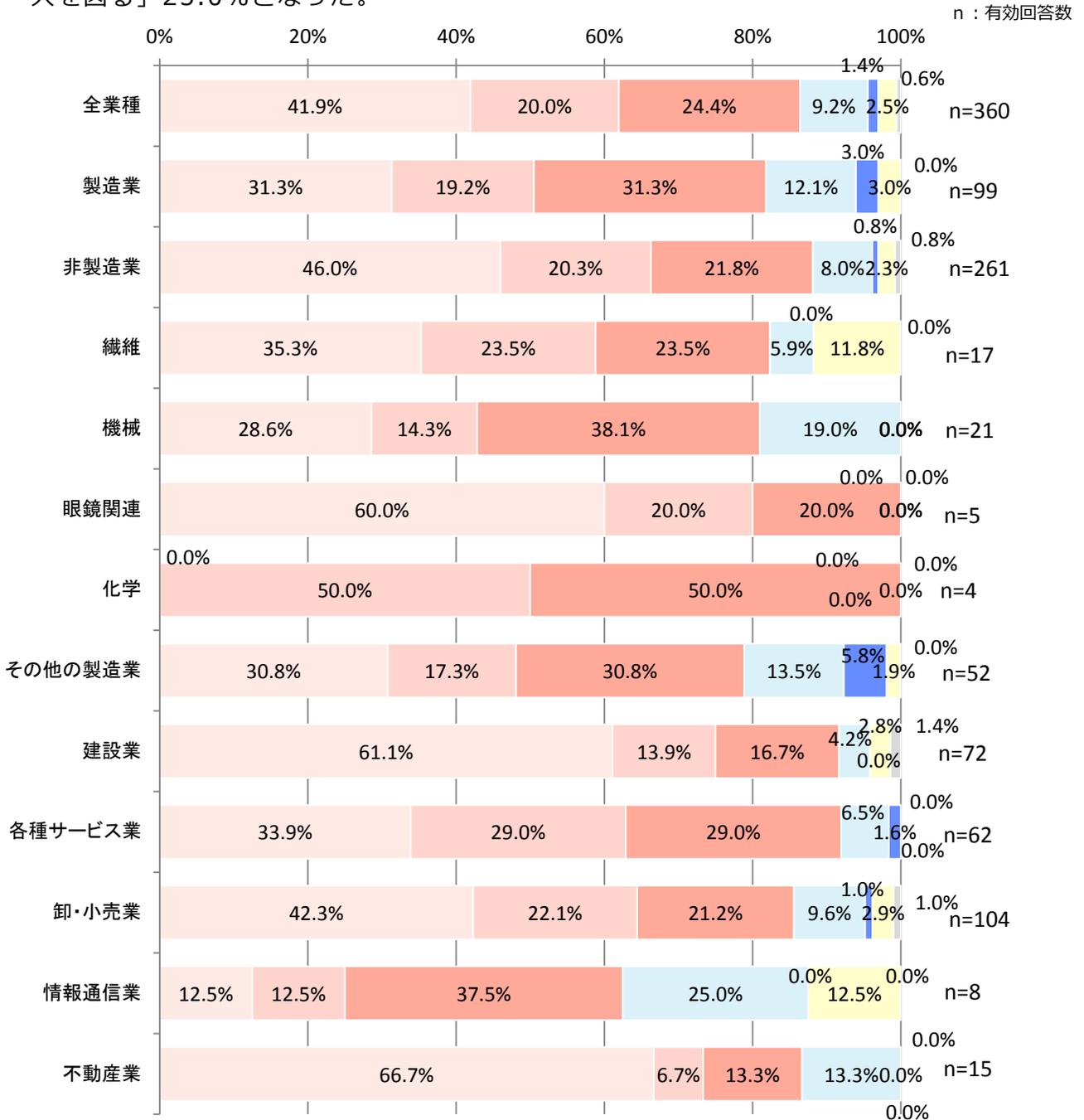
● afterコロナを見据えた事業方針について

(単一回答)

◆ 全業種で「既存事業の現状維持を図る」が41.9%と4割を占める。

製造業は「既存事業の現状維持を図る」、「既存事業の事業規模の拡大を図る」が共に31.3%、「新規事業への参入を図る」12.1%となった。機械では「既存事業の事業規模の拡大を図る」38.1%が最も多く、「新規事業への参入を図る」19.0%となった。

非製造業は「既存事業の現状維持を図る」46.0%と最も多くなったが、情報通信業では「既存事業の事業規模の拡大を図る」37.5%が最も多く、次いで「新規事業への参入を図る」25.0%となった。



- ① 既存事業の現状維持を図る
- ② 既存事業の選択と集中を図る
- ③ 既存事業の事業規模の拡大を図る
- ④ 新規事業への参入を図る
- ⑤ 異業種/異分野への参入を図る
- ⑥ まだ、事業方針が決まっていない
- ⑦ その他

● afterコロナを見据えた成長産業分野について

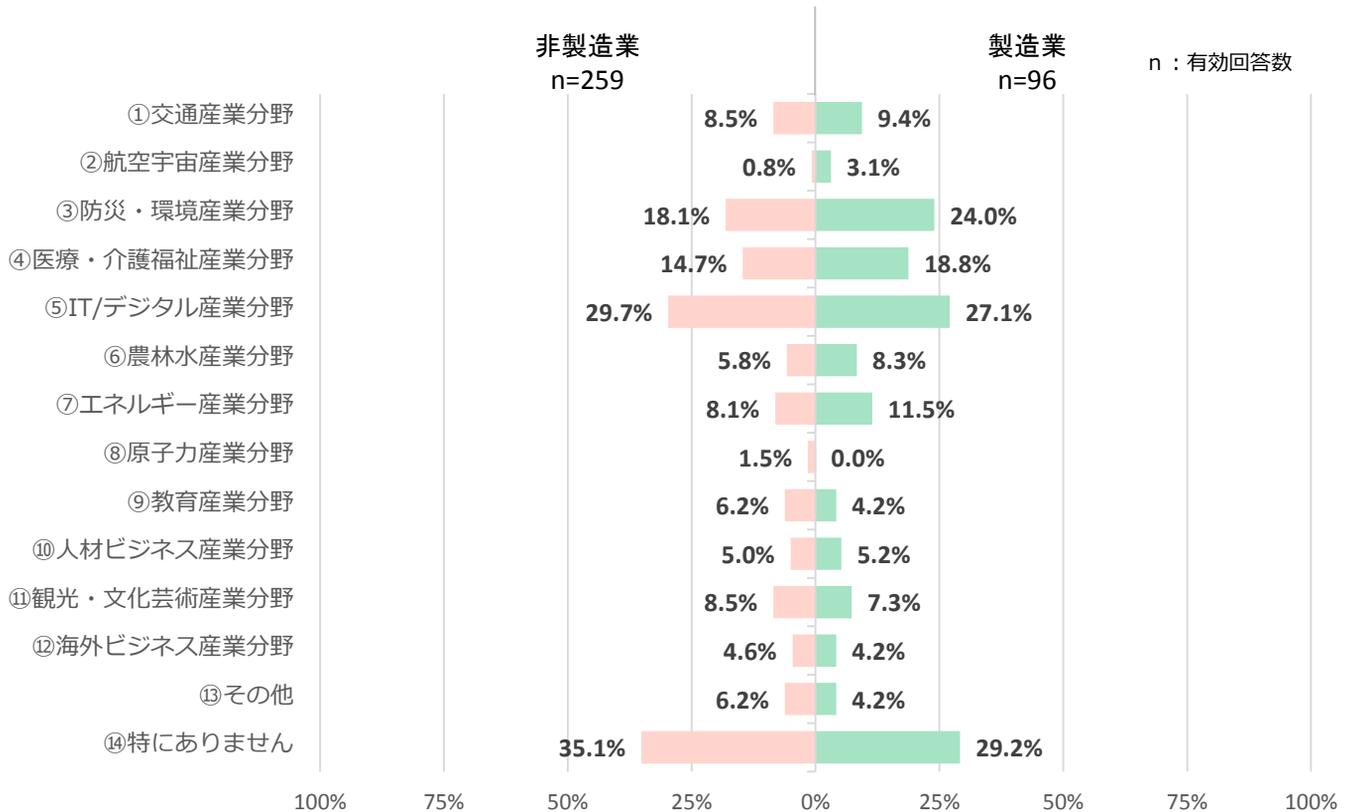
(複数回答)

◆ 全業種で「IT/デジタル産業分野」が29.0%と最も多い。

「特にありません」と回答した企業を除いて、「IT/デジタル産業分野」が最も多く、次いで「防災・環境産業分野」、「医療・介護福祉産業分野」の順となった。

製造業は、機械、化学では「IT/デジタル産業分野」が最も多く、繊維では「防災・環境産業分野」37.5%、「医療・介護福祉産業分野」25.0%と多くを占めた。

非製造業は、建設業では「防災・環境産業分野」が28.6%と多かった。

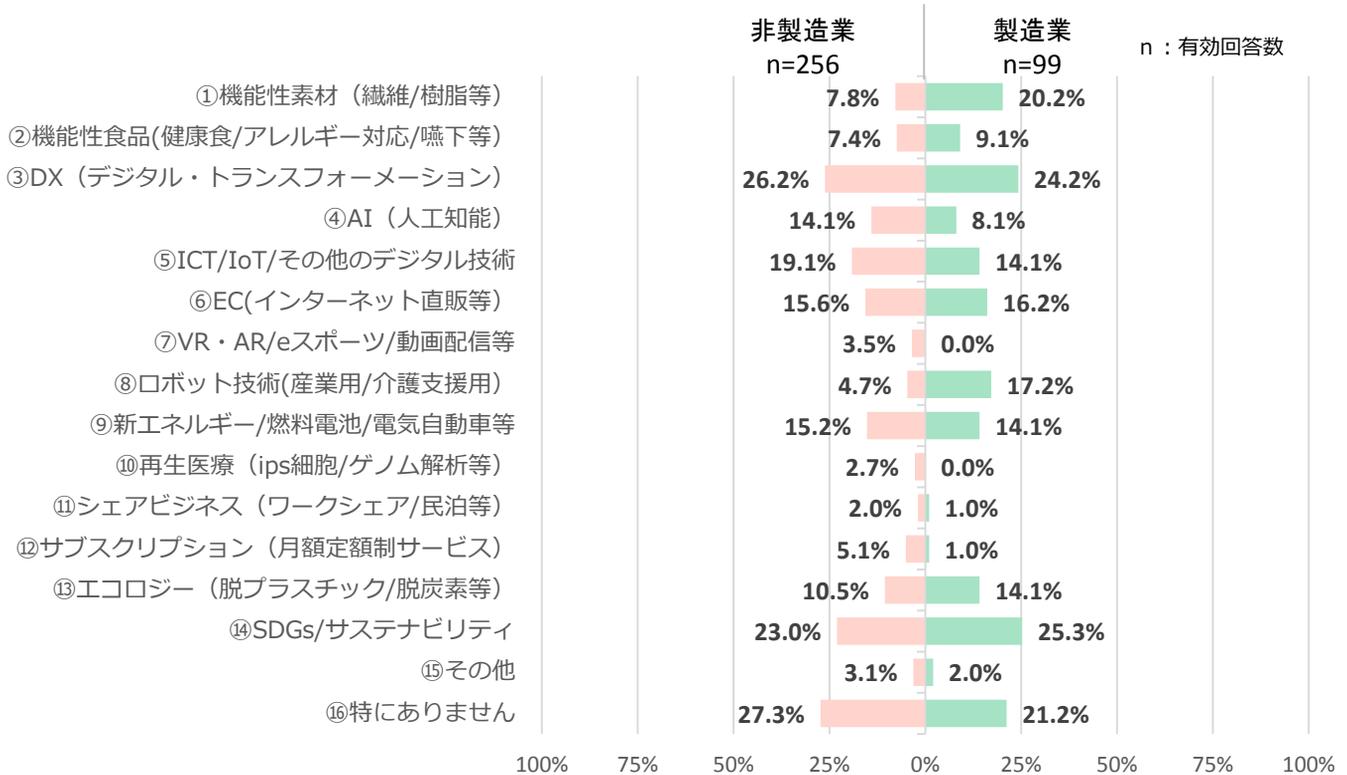


産業分野	製造業					非製造業					全体 n=355
	繊維 n=16	機械 n=21	眼鏡関連 n=5	化学 n=3	その他の 製造業 n=51	建設業 n=70	各種 サービス業 n=61	卸・小売業 n=105	情報通信業 n=8	不動産業 n=15	
①交通産業分野	6.3%	14.3%	0.0%	66.7%	5.9%	2.9%	11.5%	9.5%	12.5%	13.3%	8.7%
②航空宇宙産業分野	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
③防災・環境産業分野	37.5%	19.0%	20.0%	33.3%	21.6%	28.6%	13.1%	16.2%	0.0%	13.3%	19.7%
④医療・介護福祉産業分野	25.0%	19.0%	20.0%	0.0%	17.6%	14.3%	16.4%	15.2%	12.5%	6.7%	15.8%
⑤IT/デジタル産業分野	0.0%	57.1%	20.0%	66.7%	21.6%	22.9%	31.1%	27.6%	100.0%	33.3%	29.0%
⑥農林水産業分野	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	13.7%	7.1%	6.6%	5.7%	0.0%	0.0%	6.5%
⑦エネルギー産業分野	6.3%	14.3%	0.0%	0.0%	13.7%	7.1%	14.8%	5.7%	0.0%	6.7%	9.0%
⑧原子力産業分野	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
⑨教育産業分野	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.8%	4.3%	4.9%	5.7%	25.0%	13.3%	5.6%
⑩人材ビジネス産業分野	6.3%	4.8%	0.0%	0.0%	5.9%	10.0%	3.3%	1.9%	0.0%	13.3%	5.1%
⑪観光・文化芸術産業分野	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	7.1%	14.8%	3.8%	37.5%	6.7%	8.2%
⑫海外ビジネス産業分野	6.3%	4.8%	0.0%	0.0%	3.9%	1.4%	4.9%	7.6%	0.0%	0.0%	4.5%
⑬その他	6.3%	4.8%	0.0%	33.3%	2.0%	7.1%	8.2%	4.8%	0.0%	6.7%	5.6%
⑭特にありません	37.5%	14.3%	60.0%	0.0%	31.4%	35.7%	29.5%	38.1%	0.0%	53.3%	33.5%

● afterコロナを見据えた成長産業のビジネス・キーワードについて（複数回答）

◆全業種で「DX(デジタル・トランスフォーメーション)」が25.6%と最も多い。

製造業は「SDGs/サステナビリティ」25.3%、「DX」24.2%、「機能性素材(繊維/樹脂等)」20.2%の順に多く、非製造業は「DX」26.2%、「SDGs/サステナビリティ」23.0%、「ICT/IoT/その他のデジタル技術」19.1%が多い結果となった。



	製造業					非製造業					全体 n=355
	繊維 n=17	機械 n=22	眼鏡関連 n=5	化学 n=4	その他の 製造業 n=51	建設業 n=68	各種 サービス業 n=62	卸・小売業 n=103	情報通信業 n=8	不動産業 n=15	
①機能性素材 (繊維/樹脂等)	47.1%	0.0%	0.0%	75.0%	17.6%	0.0%	6.5%	15.5%	0.0%	0.0%	11.3%
②機能性食品(健康食/アレルギー対応/嚥下等)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	1.5%	6.5%	13.6%	0.0%	0.0%	7.9%
③DX (デジタル・トランスフォーメーション)	11.8%	50.0%	20.0%	50.0%	15.7%	22.1%	32.3%	21.4%	87.5%	20.0%	25.6%
④AI (人工知能)	17.6%	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%	21.0%	7.8%	50.0%	13.3%	12.4%
⑤ICT/IoT/その他のデジタル技術	5.9%	36.4%	0.0%	25.0%	7.8%	23.5%	24.2%	10.7%	50.0%	20.0%	17.7%
⑥EC(インターネット直販等)	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	25.5%	5.9%	12.9%	26.2%	12.5%	0.0%	15.8%
⑦VR・AR/eスポーツ/動画配信等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	5.8%	0.0%	6.7%	2.5%
⑧ロボット技術(産業用/介護支援用)	11.8%	40.9%	40.0%	0.0%	7.8%	5.9%	4.8%	4.9%	0.0%	0.0%	8.2%
⑨新エネルギー/燃料電池/電気自動車等	5.9%	22.7%	0.0%	0.0%	15.7%	13.2%	22.6%	12.6%	12.5%	13.3%	14.9%
⑩再生医療 (ips細胞/ゲノム解析等)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	3.2%	1.9%	0.0%	0.0%	2.0%
⑪シェアビジネス (ワークシェア/民泊等)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.5%	1.6%	1.0%	0.0%	13.3%	1.7%
⑫サブスクリプション (月額定額制サービス)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	4.4%	3.2%	5.8%	0.0%	13.3%	3.9%
⑬エコロジー (脱プラスチック/脱炭素等)	11.8%	4.5%	0.0%	0.0%	21.6%	8.8%	11.3%	12.6%	0.0%	6.7%	11.5%
⑭SDGs/サステナビリティ	41.2%	18.2%	20.0%	0.0%	25.5%	20.6%	24.2%	26.2%	12.5%	13.3%	23.7%
⑮その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	5.9%	4.8%	0.0%	0.0%	6.7%	2.8%
⑯特にありません	23.5%	22.7%	60.0%	0.0%	17.6%	33.8%	25.8%	24.3%	0.0%	40.0%	25.6%

● afterコロナを見据えた成長産業のビジネス・キーワードへの対応について

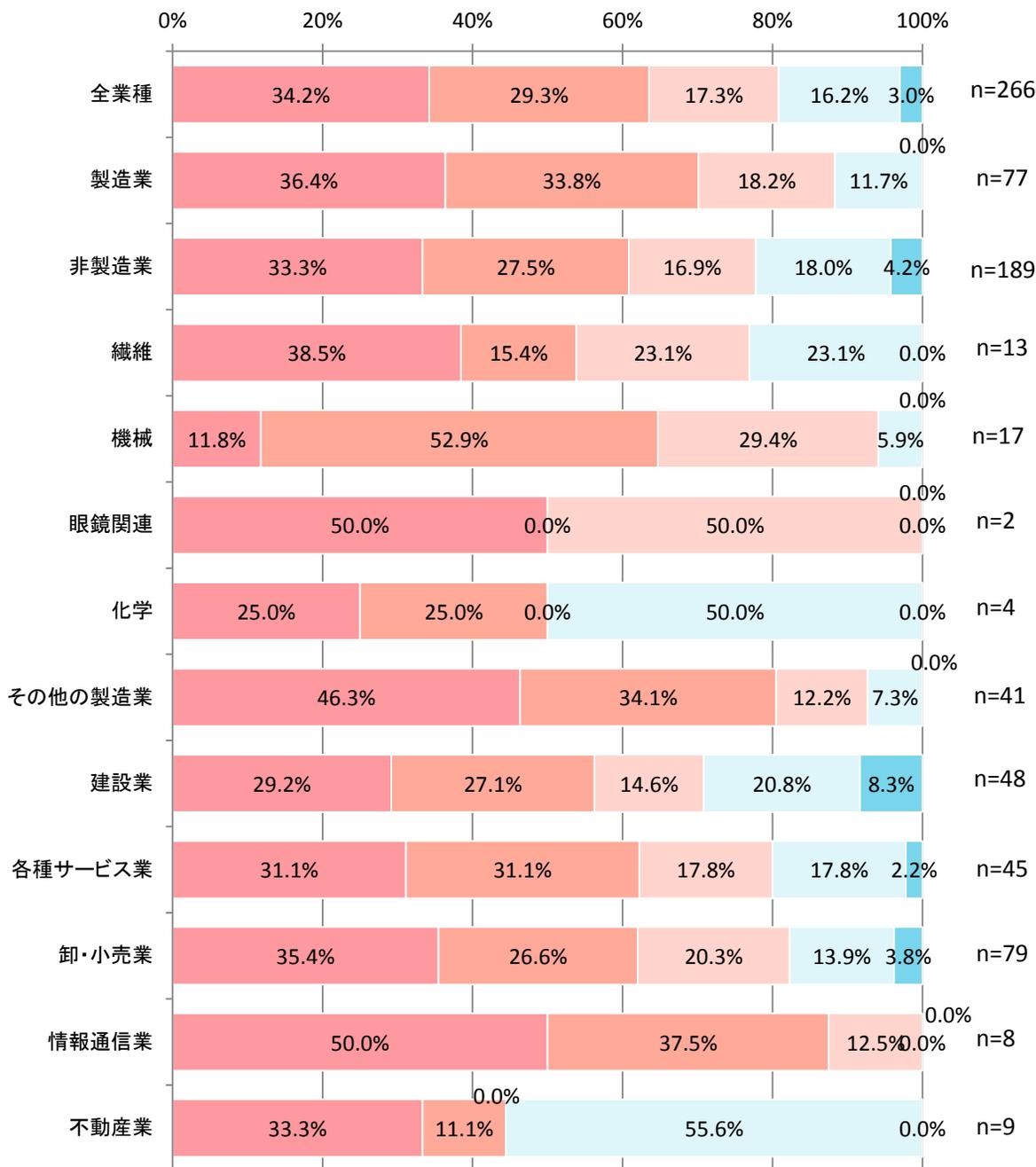
(単一回答)

◆ 全業種で「すでに取り組んでいる」が34.2%と最も多い。

「すでに取り組んでいる」34.2%と最も多く、「取組みに向けて準備をおこなっている」29.3%とあわせて63.5%が回答した。

製造業では眼鏡関連、非製造業では情報通信業が「すでに取り組んでいる」が共に50.0%を占める結果となった。

n : 有効回答数

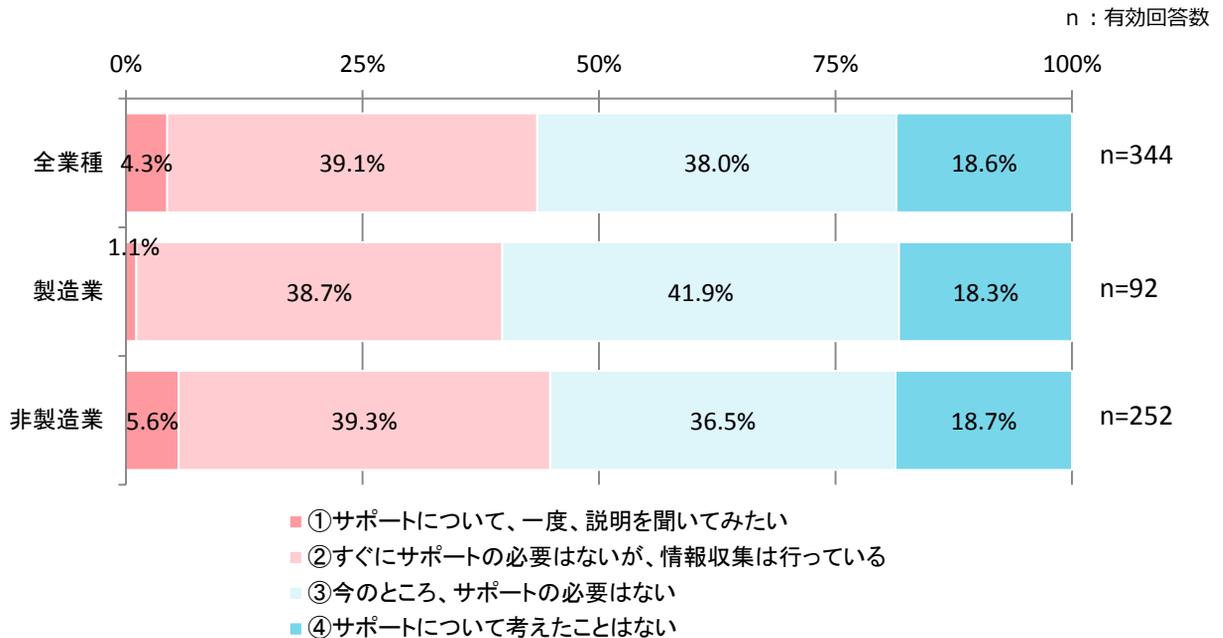


- ① すでに取り組んでいる
- ② 取組みに向けて準備を行っている
- ③ 取組みの是非について検討を行っている
- ④ 今は、取り組む予定はない
- ⑤ 対応について考えたことはない

● afterコロナを見据えた成長産業に関するサポートについて (単一回答)

◆全業種で「すぐにサポートの必要はないが、情報収集は行っている」が39.1%、「今のところ、サポートの必要はない」が38.0%となった。

「サポートについて、一度説明を聞いてみたい」が製造業では1.1%、非製造業では5.6%となり、早急なサポートの必要性を感じていると回答した企業は少なかったが、「すぐにサポートの必要はないが、情報収集は行っている」と回答した企業は製造業、非製造業共に4割弱となった。

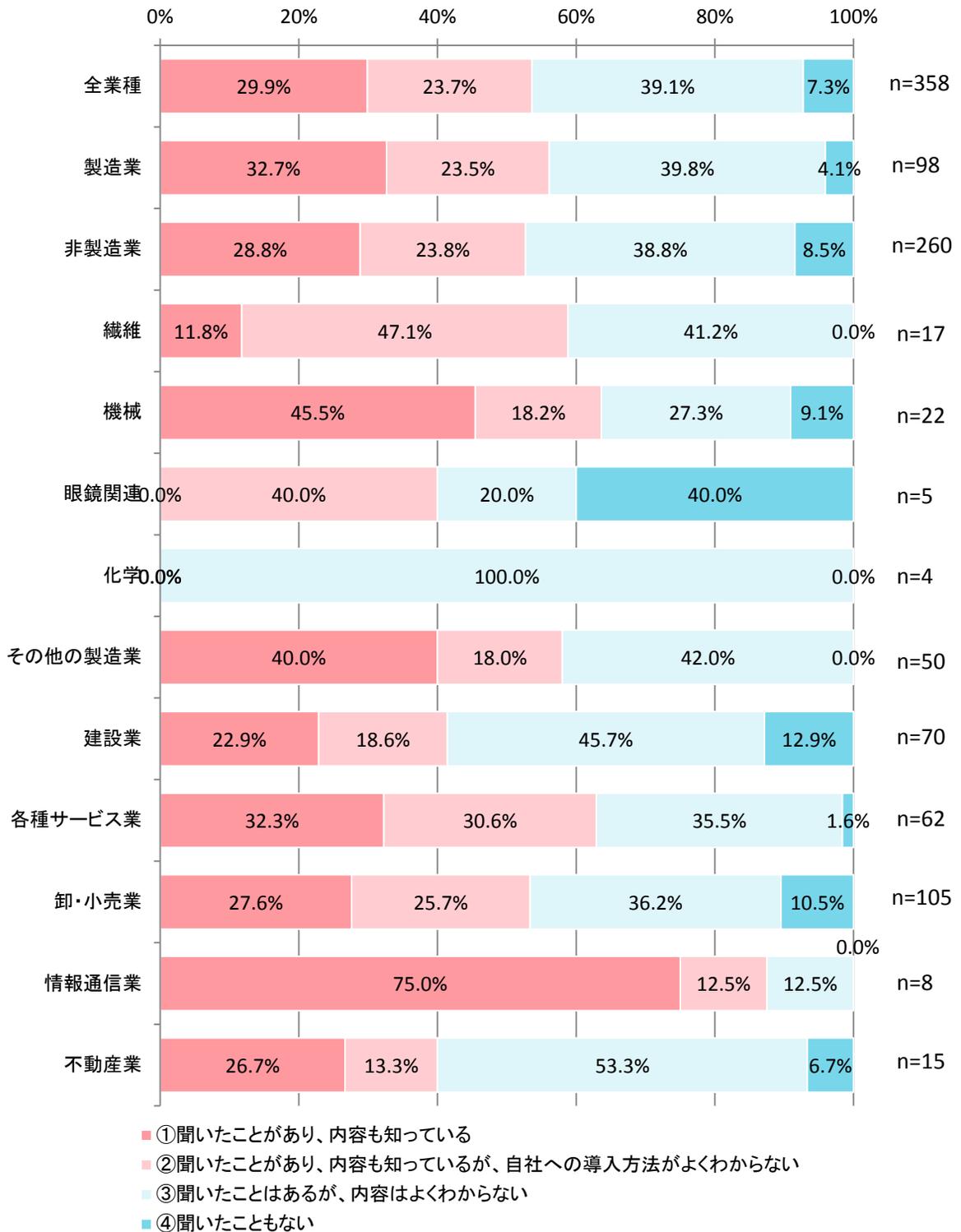


●DX(デジタル・トランスフォーメーション)に対する認識について (単一回答)

◆全業種で「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が39.1%と最も多い。

一方で、「聞いたことがあり、内容も知っている」が、機械では45.5%、情報通信業では75.0%と多くを占めた。「聞いた事があり、内容も知っているが、自社への導入方法がよくわからない」が繊維では47.1%、眼鏡関連では40.0%と多くを占めた。

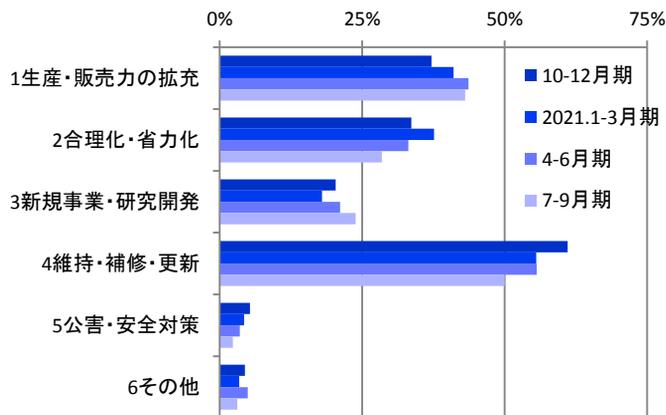
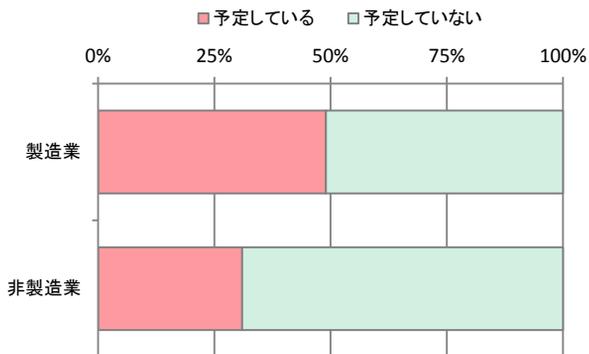
n : 有効回答数



設備投資の有無

●設備投資の有無

●設備投資の目的(複数回答)



業種別分類集計①

(単位:%)

四半期別	2021年4-6月期				2021年7-9月期				2021年10-12月期				
	前期実績				当期実績				来期見通し				
	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①-③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	前期比 ①-③	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	今期比 ①-③
業況	39.7	37.2	23.2	16.5	31.9	42.8	25.3	↓ 6.6	▲ 0.8	22.5	52.3	25.2	↓ ▲ 2.7
製造業	50.9	29.8	19.3	31.6	46.1	37.3	16.7	↓ 29.4	7.0	22.5	50.0	27.5	↓ ▲ 5.0
繊維	63	14.8	22.2	40.8	55.6	22.2	22.2	↓ 33.4	▲ 3.7	5.6	44.4	50.0	↓ ▲ 44.4
機械	52.2	34.8	13.0	39.2	31.8	45.5	22.7	↓ 9.1	13.1	22.7	59.1	18.2	↓ 4.5
眼鏡	40.0	40.0	20.0	20.0	50.0	33.3	16.7	↑ 33.3	40.0	66.7	33.3	0.0	↑ 66.7
化学	60.0	20.0	20.0	40.0	75.0	25.0	0.0	↑ 75.0	20.0	0.0	100.0	0.0	↓ 0.0
その他	44.4	35.2	20.4	24.0	46.2	40.4	13.5	↑ 32.7	5.6	25.0	46.2	28.8	↓ ▲ 3.8
非製造業	35.1	40.1	24.7	10.4	26.4	44.9	28.7	↓ ▲ 2.3	▲ 4.0	22.4	53.2	24.3	↑ ▲ 1.9
建設業	20.0	47.5	32.5	▲ 12.5	17.6	51.4	31.1	↓ ▲ 13.5	▲ 15.2	9.5	59.5	31.1	↓ ▲ 21.6
各種サービス業	49.3	36.2	14.5	34.8	32.3	33.9	33.9	↓ ▲ 1.6	14.5	31.7	43.3	25.0	↑ 6.7
卸・小売業	37.4	34.6	28.0	9.4	29.2	40.6	30.2	↓ ▲ 1.0	▲ 9.3	29.2	46.2	24.5	↑ 4.7
情報通信業	37.5	50.0	12.5	25.0	50.0	50.0	0.0	↑ 50.0	12.5	0.0	100.0	0.0	↓ 0.0
不動産業	33.3	53.3	13.3	20.0	13.3	86.7	0.0	↓ 13.3	0.0	13.3	86.7	0.0	→ 13.3
売上(工事)高	38.1	33.8	28.1	10.0	33.1	39.1	27.8	↓ 5.3	1.3	24.0	48.2	27.8	↓ ▲ 3.8
製造業	50.0	26.3	23.7	26.3	45.1	34.3	20.6	↓ 24.5	5.2	23.8	49.5	26.7	↓ ▲ 2.9
繊維	63.0	11.1	25.9	37.1	55.6	22.2	22.2	↓ 33.4	0.0	5.6	55.6	38.9	↓ ▲ 33.3
機械	47.8	34.8	17.4	30.4	31.8	40.9	27.3	↓ 4.5	8.7	22.7	59.1	18.2	→ 4.5
眼鏡	60.0	20.0	20.0	40.0	50.0	16.7	33.3	↓ 16.7	40.0	50.0	50.0	0.0	↑ 50.0
化学	60.0	20.0	20.0	40.0	75.0	25.0	0.0	↑ 75.0	20.0	0.0	75.0	25.0	↓ ▲ 25.0
その他	42.6	31.5	25.9	16.7	44.2	38.5	17.3	↑ 26.9	1.9	29.4	41.2	29.4	↓ 0.0
非製造業	33.2	36.8	30.0	3.2	28.4	41.0	30.7	↓ ▲ 2.3	▲ 0.4	24.0	47.7	28.2	↓ ▲ 4.2
建設業	22.5	42.5	35.0	▲ 12.5	21.6	45.9	32.4	↑ ▲ 10.8	▲ 6.3	17.6	44.6	37.8	↓ ▲ 20.2
各種サービス業	50.7	29.9	19.4	31.3	32.8	34.4	32.8	↓ 0.0	17.9	30.0	43.3	26.7	↑ 3.3
卸・小売業	30.8	33.6	35.5	▲ 4.7	31.1	34.0	35.0	↓ ▲ 3.9	▲ 7.5	27.6	43.8	28.6	↑ ▲ 1.0
情報通信業	37.5	50.0	12.5	25.0	37.5	62.5	0.0	↑ 37.5	0.0	12.5	87.5	0.0	↓ 12.5
不動産業	26.7	53.3	20.0	6.7	20.0	80.0	0.0	↑ 20.0	0.0	13.3	86.7	0.0	↓ 13.3
収益	34.9	37.2	27.8	7.1	30.3	43.4	26.2	↓ 4.1	▲ 2.3	21.1	51.0	27.9	↓ ▲ 6.8
製造業	45.6	30.7	23.7	21.9	45.1	36.3	18.6	↓ 26.5	1.8	22.8	50.5	26.7	↓ ▲ 3.9
繊維	59.3	22.2	18.5	40.8	55.6	22.2	22.2	↓ 33.4	3.7	5.6	66.7	27.8	↓ ▲ 22.2
機械	39.1	43.5	17.4	21.7	45.5	36.4	18.2	↑ 27.3	0.0	27.3	45.5	27.3	↓ 0.0
眼鏡	60.0	20.0	20.0	40.0	50.0	16.7	33.3	↓ 16.7	40.0	66.7	33.3	0.0	↑ 66.7
化学	60.0	0.0	40.0	20.0	75.0	25.0	0.0	↑ 75.0	0.0	0.0	75.0	25.0	↓ ▲ 25.0
その他	38.9	33.3	27.8	11.1	38.5	44.2	17.3	↑ 21.2	▲ 1.9	23.5	47.1	29.4	↓ ▲ 5.9
非製造業	30.6	39.9	29.5	1.1	24.6	46.2	29.2	↓ ▲ 4.6	▲ 4.0	20.5	51.1	28.4	↓ ▲ 7.9
建設業	18.8	46.3	35.0	▲ 16.2	16.2	54.1	29.7	↑ ▲ 13.5	▲ 13.9	10.8	50.0	39.2	↓ ▲ 28.4
各種サービス業	44.1	35.3	20.6	23.5	29.0	37.1	33.9	↓ ▲ 4.9	8.9	23.0	49.2	27.9	→ ▲ 4.9
卸・小売業	29.9	36.4	33.6	▲ 3.7	28.6	40.0	31.4	↓ ▲ 2.8	▲ 5.6	28.3	44.3	27.4	↑ 0.9
情報通信業	37.5	50.0	12.5	25.0	37.5	50.0	12.5	→ 25.0	▲ 12.5	25.0	75.0	0.0	→ 25.0
不動産業	33.3	46.7	20.0	13.3	13.3	86.7	0.0	→ 13.3	6.7	0.0	100.0	0.0	↓ 0.0
受注残高	32.4	36.7	30.9	1.5	25.1	47.8	27.1	↓ ▲ 2.0	▲ 9.4	18.4	53.3	28.2	↓ ▲ 9.8
製造業	40.6	32.3	27.1	13.5	35.6	45.6	18.9	↓ 16.7	0.0	21.1	54.4	24.4	↓ ▲ 3.3
繊維	54.2	8.3	37.5	16.7	44.4	33.3	22.2	↑ 22.2	▲ 4.2	0.0	61.1	38.9	↓ ▲ 38.9
機械	45.0	40.0	15.0	30.0	33.3	52.4	14.3	↓ 19.0	10.0	23.8	61.9	14.3	↓ 9.5
眼鏡	25.0	25.0	50.0	▲ 25.0	50.0	33.3	16.7	↑ 33.3	75.0	66.7	33.3	0.0	↑ 66.7
化学	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	→ 50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓ 0.0
その他	31.8	40.9	27.3	4.5	30.2	48.8	20.9	↑ 9.3	▲ 9.0	23.3	48.8	27.9	↓ ▲ 4.6
非製造業	28.0	39.0	33.0	▲ 5.0	19.4	49.1	31.5	↓ ▲ 12.1	▲ 14.5	17.0	52.7	30.3	↓ ▲ 13.3
建設業	22.5	39.4	38.0	▲ 15.5	16.2	51.5	32.4	↓ ▲ 16.2	▲ 18.5	11.8	51.5	36.8	↓ ▲ 25.0
各種サービス業	32.1	35.7	32.1	0.0	23.3	53.3	23.3	→ 0.0	7.2	20.0	53.3	26.7	↓ ▲ 6.7
卸・小売業	28.2	39.4	32.4	▲ 4.2	22.4	37.9	39.7	↓ ▲ 17.3	▲ 22.9	22.4	48.3	29.3	↑ ▲ 6.9
情報通信業	75.0	0.0	25.0	50.0	0.0	100.0	0.0	↓ 0.0	▲ 25.0	0.0	100.0	0.0	→ 0.0
不動産業	37.5	62.5	0.0	37.5	16.7	83.3	0.0	↓ 16.7	25.0	16.7	83.3	0.0	→ 16.7

業種別分類集計②

(単位:%)

四半期別	2021年4-6月期				2021年7-9月期					2021年10-12月期					
	前期実績				当期実績					来期見通し					
	状況	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①-③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 前期比 ①-③	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 今期比 ①-③	
項目	①	②	③	①-③	①	②	③	前期比 ①-③	前回 調査時 今期 見通し	①	②	③	今期比 ①-③		
製(商)品販売価格	15.0	75.5	9.5	5.5	20.1	71.7	8.3	↑	11.8	4.3	19.2	72.8	8.0	↓	11.2
製造業	8.1	82.9	9.0	▲0.9	18.2	74.7	7.1	↑	11.1	▲2.7	16.3	77.6	6.1	↓	10.2
繊維	3.8	88.5	7.7	▲3.9	5.6	94.4	0.0	↑	5.6	3.9	5.6	94.4	0.0	→	5.6
機械	9.1	72.7	18.2	▲9.1	19.0	66.7	14.3	↑	4.7	▲18.2	20.0	70.0	10.0	↑	10.0
眼鏡	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	↓	▲16.7	20.0	0.0	83.3	16.7	→	▲16.7
化学	20.0	80.0	0.0	20.0	75.0	25.0	0.0	↓	75.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
その他	9.4	83.0	7.5	1.9	20.0	74.0	6.0	↑	14.0	▲1.9	22.0	72.0	6.0	↑	16.0
非製造業	18.0	72.3	9.8	8.2	20.8	70.4	8.8	↑	12.0	7.4	20.4	70.8	8.8	↓	11.6
建設業	19.1	69.1	11.8	7.3	21.9	71.9	6.3	↓	15.6	10.3	23.4	68.8	7.8	→	15.6
各種サービス業	11.3	83.9	4.8	6.5	5.8	86.5	7.7	↓	▲1.9	▲4.9	3.8	86.5	9.6	↓	▲5.8
卸・小売業	23.6	63.2	13.2	10.4	30.5	57.1	12.4	↑	18.1	14.9	29.5	60.0	10.5	↑	19.0
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	7.7	92.3	0.0	7.7	7.7	92.3	0.0	→	7.7	▲7.7	7.7	92.3	0.0	→	7.7
原材料(仕入・資材)価格	44.4	52.4	3.2	41.2	54.0	43.2	2.8	↑	51.2	38.8	45.7	50.0	4.3	↓	41.4
製造業	50.4	46.0	3.5	46.9	68.0	30.0	2.0	↑	66.0	44.3	62.0	34.0	4.0	↓	58.0
繊維	37.0	59.3	3.7	33.3	55.6	44.4	0.0	↑	55.6	33.3	50.0	44.4	5.6	↓	44.4
機械	54.5	40.9	4.5	50.0	75.0	25.0	0.0	↑	75.0	41.0	70.0	30.0	0.0	↓	70.0
眼鏡	40.0	60.0	0.0	40.0	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	40.0	50.0	50.0	0.0	→	50.0
化学	80.0	20.0	0.0	80.0	100.0	0.0	0.0	↑	100.0	60.0	100.0	0.0	0.0	→	100.0
その他	53.7	42.6	3.7	50.0	69.2	26.9	3.8	↑	65.4	50.0	61.5	32.7	5.8	↓	55.7
非製造業	41.9	55.1	3.0	38.9	48.4	48.4	3.2	↑	45.2	36.4	39.3	56.3	4.4	↓	34.9
建設業	55.8	44.2	0.0	55.8	60.3	38.4	1.4	↑	58.9	55.3	50.7	47.9	1.4	↓	49.3
各種サービス業	32.8	67.2	0.0	32.8	42.9	55.4	1.8	↑	41.1	28.1	28.6	64.3	7.1	↓	21.5
卸・小売業	43.0	49.5	7.5	35.5	49.0	45.2	5.8	↑	43.2	33.7	41.3	52.9	5.8	↓	35.5
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	9.1	90.9	0.0	9.1	23.1	76.9	0.0	↑	23.1	0.0	23.1	76.9	0.0	→	23.1
在庫	11.7	63.0	25.3	▲13.6	16.5	60.2	23.3	↑	▲6.8	▲6.3	10.0	72.8	17.2	↓	▲7.2
製造業	12.6	62.1	25.2	▲12.6	20.4	52.7	26.9	↑	▲6.5	▲7.7	10.8	69.9	19.4	↓	▲8.6
繊維	11.1	63.0	25.9	▲14.8	22.2	44.4	33.3	↑	▲11.1	▲11.1	11.1	72.2	16.7	↑	▲5.6
機械	16.7	72.2	11.1	5.6	23.5	64.7	11.8	↑	11.7	0.0	11.8	70.6	17.6	↓	▲5.8
眼鏡	0.0	60.0	40.0	▲40.0	0.0	83.3	16.7	↑	▲16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	↑	0.0
化学	20.0	40.0	40.0	▲20.0	25.0	0.0	75.0	↓	▲50.0	▲20.0	25.0	75.0	0.0	↑	25.0
その他	12.5	60.4	27.1	▲14.6	20.8	52.1	27.1	↓	▲6.3	▲8.4	8.3	68.8	22.9	↓	▲14.6
非製造業	11.2	63.5	25.4	▲14.2	14.5	64.0	21.5	↑	▲7.0	▲5.6	9.7	74.2	16.1	↑	▲6.4
建設業	5.7	71.7	22.6	▲16.9	6.5	80.4	13.0	↑	▲6.5	▲11.4	6.5	78.3	15.2	↓	▲8.7
各種サービス業	13.3	67.7	10.0	3.3	22.7	63.6	13.6	↑	9.1	▲3.3	9.1	81.8	9.1	↓	0.0
卸・小売業	14.7	52.9	32.4	▲17.7	17.5	53.4	29.1	↑	▲11.6	▲2.0	10.7	68.9	20.4	↑	▲9.7
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	↓	▲20.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↑	0.0
不動産業	0.0	75.0	25.0	▲25.0	10.0	90.0	0.0	↑	10.0	▲25.0	20.0	80.0	0.0	↑	20.0
雇用者	25.1	56.9	17.9	7.2	20.1	60.6	19.3	↓	0.8	10.8	17.4	75.4	7.2	↑	10.2
製造業	20.2	53.5	26.3	▲6.1	21.8	55.4	22.8	↑	▲1.0	7.9	20.8	72.3	6.9	↑	13.9
繊維	14.8	55.6	29.6	▲14.8	11.1	55.6	33.3	↓	▲22.2	▲11.1	11.1	83.3	5.6	↑	5.5
機械	30.4	39.1	30.4	0.0	27.3	54.5	18.2	↓	9.1	17.4	22.7	77.3	0.0	↑	22.7
眼鏡	40.0	20.0	40.0	0.0	33.3	50.0	16.7	↑	16.6	40.0	50.0	33.3	16.7	↑	33.3
化学	20.0	80.0	0.0	20.0	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
その他	16.7	59.3	24.1	▲7.4	19.6	56.9	23.5	↑	▲3.9	11.1	21.6	68.6	9.8	↑	11.8
非製造業	27.2	58.3	14.5	12.7	19.5	62.6	17.9	↓	1.6	12.0	16.1	76.6	7.3	↑	8.8
建設業	37.2	52.6	10.3	26.9	23.3	60.3	16.4	↓	6.9	16.9	20.5	75.3	4.1	↑	16.4
各種サービス業	23.2	55.1	21.7	1.5	21.0	58.1	21.0	↓	0.0	16.2	21.3	68.9	9.8	↑	11.5
卸・小売業	22.6	62.3	15.1	7.5	15.2	64.8	20.0	↓	▲4.8	7.5	10.5	80.0	9.5	↑	1.0
情報通信業	62.5	25.0	12.5	50.0	42.9	42.9	14.3	↓	28.6	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
不動産業	6.7	93.3	0.0	6.7	13.3	86.7	0.0	↑	13.3	6.6	20.0	80.0	0.0	↑	20.0
資金繰り	15.1	79.5	5.4	9.7	12.1	80.2	7.7	↓	4.4	0.5	9.4	81.4	9.1	↓	0.3
製造業	15.8	78.1	6.1	9.7	11.9	81.2	6.9	↓	5.0	1.7	8.9	81.2	9.9	↓	▲1.0
繊維	25.9	66.7	7.4	18.5	33.3	50.0	16.7	↓	16.6	11.1	16.7	55.6	27.8	↓	▲11.1
機械	26.1	73.9	0.0	26.1	9.1	90.9	0.0	↓	9.1	13.0	4.5	81.8	13.6	↓	▲9.1
眼鏡	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	▲20.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
化学	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
その他	9.3	81.5	9.3	0.0	7.8	84.3	7.8	→	0.0	▲5.6	9.8	86.3	3.9	↑	5.9
非製造業	14.9	80.1	5.1	9.8	12.2	79.8	8.0	↓	4.2	0.0	9.6	81.5	8.8	↓	0.8
建設業	15.2	78.5	6.3	8.9	15.1	79.5	5.5	↑	9.6	▲1.3	9.6	80.8	9.6	↓	0.0
各種サービス業	18.8	78.3	2.9	15.9	19.4	74.2	6.5	↓	12.9	5.8	20.0	73.3	6.7	↑	13.3
卸・小売業	13.2	82.1	4.7	8.5	7.6	81.0	11.4	↓	▲3.8	▲2.9	4.8	83.8	11.4	↓	▲6.6
情報通信業	14.3	71.4	14.3	0.0	14.3	71.4	14.3	→	0.0	0.0	14.3	85.7	0.0	↑	14.3
不動産業	6.7	86.7	6.7	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0

地域別分類集計

(単位: %)

四半期別	2021年4-6月期				2021年7-9月期					2021年10-12月期					
	前期実績				今期実績					来期見通し					
	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.		
項目	①	②	③	①-③	①	②	③	前期比	①-③		①	②	③	今期比	①-③
業況	39.7	37.2	23.2	16.5	31.9	42.8	25.3	↓	6.6	▲ 0.8	22.5	52.3	25.2	↓	▲ 2.7
福井地区	43.2	34.7	22.2	21.0	33.5	41.3	25.1	↓	8.4	▲ 5.2	20.5	51.8	27.7	↓	▲ 7.2
坂井地区	51.2	26.8	22.0	29.2	40.9	40.9	18.2	↓	22.7	5.2	22.7	50.0	27.3	↓	▲ 4.6
丹南地区	38.7	37.6	23.7	15.0	34.6	40.7	24.7	↓	9.9	10.7	32.1	46.9	21.0	↑	11.1
奥越地区	26.7	60.0	13.3	13.4	36.4	36.4	27.3	↓	9.1	▲ 6.7	9.1	72.7	18.2	↓	▲ 9.1
嶺南地区	27.9	44.1	27.9	0.0	17.2	51.6	31.3	↓	▲ 14.1	▲ 5.9	17.5	58.7	23.8	↑	▲ 6.3
売上(工事)高	38.1	33.8	28.1	10.0	33.1	39.1	27.8	↓	5.3	1.3	24.0	48.2	27.8	↓	▲ 3.8
福井地区	42.5	31.6	25.9	16.6	35.2	37.6	27.3	↓	7.9	▲ 2.3	19.4	49.7	30.9	↓	▲ 11.5
坂井地区	48.8	24.4	26.8	22.0	34.9	46.5	18.6	↓	16.3	7.3	27.9	46.5	25.6	↓	2.3
丹南地区	36.6	32.3	31.2	5.4	33.8	37.5	28.8	↓	5.0	12.9	28.8	48.8	22.5	↑	6.3
奥越地区	33.3	46.7	20.0	13.3	27.3	45.5	27.3	↓	0.0	▲ 6.6	18.2	54.5	27.3	↓	▲ 9.1
嶺南地区	23.5	44.1	32.4	▲ 8.9	26.6	39.1	34.4	↑	▲ 7.8	▲ 7.4	28.1	43.8	28.1	↑	0.0
収益	34.9	37.2	27.8	7.1	30.3	43.4	26.2	↓	4.1	▲ 2.3	21.1	51.0	27.9	↓	▲ 6.8
福井地区	38.9	37.7	23.4	15.5	31.3	44.6	24.1	↓	7.2	▲ 7.5	16.9	52.4	30.7	↓	▲ 13.8
坂井地区	46.3	22.0	31.7	14.6	34.1	43.2	22.7	↓	11.4	9.8	27.3	45.5	27.3	↓	0.0
丹南地区	32.3	34.4	33.3	▲ 1.0	38.3	34.6	27.2	↑	11.1	8.7	26.3	51.3	22.5	↓	3.8
奥越地区	33.3	40.0	26.7	6.6	27.3	54.5	18.2	↑	9.1	▲ 20.0	18.2	54.5	27.3	↓	▲ 9.1
嶺南地区	22.1	48.5	29.4	▲ 7.3	15.6	50.0	34.4	↓	▲ 18.8	▲ 7.4	21.9	50.0	28.1	↑	▲ 6.2
受注残高	32.4	36.7	30.9	1.4	25.1	47.8	27.1	↓	▲ 2.0	▲ 9.5	18.4	53.3	28.2	↓	▲ 9.8
福井地区	31.5	37.9	30.6	0.9	25.0	49.1	25.9	↓	▲ 0.9	▲ 14.8	16.7	50.0	33.3	↓	▲ 16.6
坂井地区	43.5	26.1	30.4	13.1	31.0	51.7	17.2	↓	13.8	26.1	20.7	58.6	20.7	↓	0.0
丹南地区	35.2	38.0	26.8	8.4	30.3	42.4	27.3	↓	3.0	1.4	21.2	53.0	25.8	↓	▲ 4.6
奥越地区	41.7	33.3	25.0	16.7	25.0	62.5	12.5	↓	12.5	0.0	12.5	75.0	12.5	↓	0.0
嶺南地区	22.9	37.5	39.6	▲ 16.7	13.6	47.7	38.6	↓	▲ 25.0	▲ 31.2	18.2	54.5	27.3	↑	▲ 9.1
製(商)品販売価格	15.0	75.5	9.5	5.4	20.1	71.7	8.3	↑	11.8	4.3	19.2	72.8	8.0	↓	11.2
福井地区	15.1	75.9	9.0	6.1	23.4	68.2	8.4	↑	15.0	6.7	24.0	68.2	7.8	↑	16.2
坂井地区	12.8	71.8	15.4	▲ 2.6	12.8	76.9	10.3	↑	2.5	▲ 12.8	10.5	81.6	7.9	↑	2.6
丹南地区	15.1	75.6	9.3	5.8	20.8	72.7	6.5	↑	14.3	10.3	19.5	71.4	9.1	↓	10.4
奥越地区	20.0	73.3	6.7	13.3	11.1	88.9	0.0	↓	11.1	13.3	11.1	77.8	11.1	↓	0.0
嶺南地区	14.8	77.0	8.2	6.6	16.7	73.3	10.0	↑	6.7	▲ 1.7	13.3	80.0	6.7	↓	6.6
原材料(仕入・資材)価格	44.4	52.4	3.2	41.3	54.0	43.2	2.8	↑	51.2	38.7	45.7	50.0	4.3	↓	41.4
福井地区	39.1	57.4	3.6	35.5	53.5	42.8	3.8	↑	49.7	34.5	50.9	44.7	4.4	↓	46.5
坂井地区	48.7	51.3	0.0	48.7	52.5	47.5	0.0	↑	52.5	41.0	45.0	50.0	5.0	↓	40.0
丹南地区	55.4	40.2	4.3	51.1	58.8	40.0	1.3	↑	57.5	47.8	43.8	52.5	3.8	↓	40.0
奥越地区	46.7	53.3	0.0	46.7	54.5	45.5	0.0	↑	54.5	53.3	27.3	63.6	9.1	↓	18.2
嶺南地区	39.7	57.1	3.2	36.5	50.0	45.2	4.8	↑	45.2	31.7	38.7	58.1	3.2	↓	35.5
在庫	11.7	63.0	25.3	▲ 13.7	16.5	60.2	23.3	↑	▲ 6.8	▲ 6.4	10.0	72.8	17.2	↓	▲ 7.2
福井地区	12.5	60.3	27.2	▲ 14.7	17.3	56.7	26.0	↑	▲ 8.7	▲ 13.2	9.4	71.7	18.9	↓	▲ 9.5
坂井地区	7.4	70.4	22.2	▲ 14.8	31.0	51.7	17.2	↑	13.8	3.7	10.3	75.9	13.8	↑	▲ 3.5
丹南地区	16.9	59.7	23.4	▲ 6.5	11.8	61.8	26.5	↓	▲ 14.7	5.2	10.3	72.1	17.6	↑	▲ 7.3
奥越地区	0.0	90.9	9.1	▲ 9.1	0.0	100.0	0.0	↑	0.0	▲ 9.1	0.0	100.0	0.0	→	0.0
嶺南地区	6.1	65.3	28.6	▲ 22.5	14.6	66.7	18.8	↑	▲ 4.2	▲ 10.2	12.5	70.8	16.7	→	▲ 4.2
雇用者	25.1	56.9	17.9	7.1	20.1	60.6	19.3	↓	0.8	10.8	17.4	75.4	7.2	↑	10.2
福井地区	26.3	56.6	17.1	9.2	17.0	60.0	23.0	↓	▲ 6.0	6.9	18.8	73.9	7.3	↑	11.5
坂井地区	19.5	58.5	22.0	▲ 2.5	22.7	61.4	15.9	↑	6.8	12.2	20.5	77.3	2.3	↑	18.2
丹南地区	24.7	58.1	17.2	7.5	22.5	63.8	13.8	↑	8.7	16.1	16.3	77.5	6.3	↑	10.0
奥越地区	26.7	46.7	26.7	0.0	9.1	81.8	9.1	→	0.0	6.6	0.0	81.8	18.2	↓	▲ 18.2
嶺南地区	25.8	57.6	16.7	9.1	25.4	54.0	20.6	↓	4.8	13.8	16.1	74.2	9.7	↑	6.4
資金繰り	15.1	79.5	5.4	9.7	12.1	80.2	7.7	↓	4.4	0.5	9.4	81.4	9.1	↓	0.3
福井地区	13.7	80.6	5.7	8.0	13.9	78.9	7.2	↓	6.7	▲ 1.7	9.7	82.4	7.9	↓	1.8
坂井地区	25.0	72.5	2.5	22.5	23.3	72.1	4.7	↓	18.6	15.0	23.3	67.4	9.3	↓	14.0
丹南地区	15.1	78.5	6.5	8.6	3.8	90.0	6.3	↓	▲ 2.5	1.1	2.5	87.5	10.0	↓	▲ 7.5
奥越地区	0.0	86.7	13.3	▲ 13.3	9.1	63.6	27.3	↓	▲ 18.2	▲ 20.0	0.0	81.8	18.2	→	▲ 18.2
嶺南地区	16.4	80.6	3.0	13.4	11.1	79.4	9.5	↓	1.6	1.5	9.7	80.6	9.7	↓	0.0

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ①

業種	自由意見
製造業	現状維持がどこまで出来るか。
製造業	原材料、仕入商品ともに値上げがある。従来よりもインフレが進んでいる事を実感している。当社としても価格転嫁せざるを得ず、適切に対応していく。現状、スタグフレーションに近づいているように感じる。注視して今後のマクロ経済を見守っていきたい。
製造業	①原材料(資材)価格の値上がりが急、2020年前期比で、鉄材は1.6~1.8倍(2021/7月)。 ②供給不足が、半導体など月替わりで顕著になる。世界経済は好調だが、コロナの影響もあり、生産や製造は需要に追いついていない。インフレの様相になっていくのではないかと！
製造業	大手企業の設備投資の減少や機械メンテナンスの先送りの影響、コロナによる営業活動の自粛で売上低迷。現場におけるコロナ対策費の増大による収益の減少が見込まれる。
製造業	伝統工芸産地なのでピークの1/2の売上ですが、本来の漆器うるしはピークの1/10に新商品作りをしているところ。生き残りをかけ日本の文化をインバウンドに官民一体で取り組み、海外の方々に使って頂けるモノづくりを扱う必要がある。
製造業	注文は多くなっているが、先行きの見通しが立たない。が、展示会などが復活しているので良い方向に向くと思う。
製造業	飲食店の売上減少が止まらない。
製造業	原材料の高騰が、経営に非常に大きな影響を与えている。
製造業	原材料の品不足、高騰、販売価格への転嫁が困難。人手不足、販売力を強化したい。
製造業	大型機械の引き合いは依然として少ない。
製造業	設備投資に限ってはまだまだ、大型物件の引き合いは少ない。
製造業	建設業も週休2日制を実施して欲しい。働き方改革が進んでいない。
製造業	材料の価格が高騰していて、10月に向け値上げを検討している。その為、駆け込み需要がある。一時忙しくなると予想するが、11月以降は不明。宣言しているだけの緊急事態宣言も意味なく、ただ、景気を冷え込ませているだけに感じる。早く解除すべきである。
製造業	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が日本の半数以上の県が対象となっている影響で、外食や観光産業は引き続き厳しい状況となり景気減速感が懸念される。起爆剤と期待された東京オリ・パラは原則無観客となり、経済回復にはつながらず残念なところは否めない。 この秋には自民党総裁選挙と衆議院解散総選挙も予定されるが、新型コロナ対策や景気回復対策、また、外交緩和による国内・国外需要増加を期待して当社業況につなげていきたい。
製造業	このコロナ感染により、行動範囲が狭くなり、思うように動けない事がある。オンラインも良いのですが、身近に感じない事がある。
製造業	コロナの影響で東南アジアの工場がストップしたため、部材が入らなくなり、トヨタ関連は9月の生産が4割減産となり、先行き不透明である！ほかの自動車関連も5~6割減との情報も入っている？
製造業	コロナ感染症拡大次第。嗜好品の為、人の心情や時世に左右される。
製造業	多少の景況感の回復は見込めるものの、まだまだ、コロナ禍前に戻る感じはつかめていません。
建設業	大型公共事業が県内で多い事が起因する人手不足感が多大であると感じている。
建設業	弊社はこの10年間、架橋工事(大規模工事)が切れたことがありませんでしたが、6月~10月、5か月に渡り架橋工事がありません。このような事態は20年間のスパンで見ても初めてです。でも、元請土木工事があり、仕事が無いという事にはなっておりませんが(不安ではあります)。10月からはまた、架橋工事が発生してきます。
建設業	コロナ禍の影響は、当社にとっては殆どないが、このまま進めば個人顧客の収入減にともない、多少影響が出てくる。
建設業	・鋼材価格が急激に上昇して、製品単価に転嫁できない。 ・鋼材や資材のリードタイムが長くなってきて、中には発注してから半年以上かかるものもある。
建設業	2021年6月期決算は減収減益となりましたが、前々期並みの業績を確保しました。今期以降についてはコロナウイルス感染拡大など懸念材料が多くなっています。加えて安定的な人材の確保も重要な課題です。
建設業	ウッドショックの影響により、短期的に景気動向が判断しづらい。
建設業	フィットネス経営の面では、コロナの影響はとて大きく、何とかおさまって欲しいと思っている。インフルエンザと比較しても感染力はそれ程でもなく、経済、社会が壊れる様な事態になってしまっている。人間の愚かさが如実に顕わになっていて、嘆かわしい限りである。感染症5類に指定し、PCR検査ct値を30以上に変更すれば、一気におさまる。

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ②

業種	自由意見
建設業	北陸新幹線工事に県・市は財政を動員してきました。今後、1～2年は財政を縮小する為、公共事業を減らすのではと危惧しています。
建設業	コロナ禍の影響で、工事の中止や延期が多く出る中で、新規事業の挑戦及び、北陸新幹線、舞鶴若狭道の工事受注に努力していくと思います。工場内での生産UPを視野に工事全体ではなく、加工・運搬に力を入れて行います。
建設業	建設業は安定している。ただ、受注見通しは不安定である。
建設業	コロナ、ウッドショック等にて受注減が生じている。
建設業	コロナで対面相談、商談が難しいため、決定までに時間がかかり過ぎてもどかしくもどこかに無理が生じる。
建設業	コロナで飲食、旅行業などが大変な状況の中、いずれは建設業にも影響が出てくるのではないかと不安になります。
卸・小売業	販売先の収益悪化、廃業等が心配です。
卸・小売業	業況はあまり変化はなく、お客様は好調を維持されています。半導体関連の製造業のお客様はまだこれから増産の予定です。それ以外のお客様もそこまでの落込みはありません。
卸・小売業	新幹線関連工事の終了に伴い、生コンの出荷量の減少が見込まれ、同時に骨材出荷量も減少が見込まれる。
卸・小売業	個人消費を促すために消費税を0%にすること、プライマリーバランス黒字化目標を凍結して、財政拡大でデフレを解消して、GDPを5～6%目標にすれば、日本も再浮上し、所得UPで日本が活性化する。
卸・小売業	コロナ禍の影響により営業活動が大きく減少したため、当社に大きな災害になっている。何とか耐えしのいでいる状況である。
卸・小売業	2021年6月頃より仮受注が入り生産がタイトになってきている。コロナの影響が長引けば、仮受注が本受注につながらず、業況が停滞する懸念の恐れがあります。
卸・小売業	衣料、アパレルが悪くて、どうしようもないです。
卸・小売業	出荷の激減から供給体制の構築及び価格の維持に懸念があり、組合員同士の共販の精神を高めていきたいと考えます。
卸・小売業	新型コロナウイルス感染症の影響はワクチン接種でおさまっていくと思いきや、このよう状況になり、先行きが不安です。眼鏡業界はこれから稼ぎ時なので、早期の収束を願っております。
卸・小売業	テレビによるコロナ煽り報道で正確な情報が伝わらず、ただただ自粛モードでの生活を強いられている。そのあおりで旅行や飲食が打撃を受けている。
卸・小売業	五輪で回復を図れなかったのが痛い。
卸・小売業	食品流通産業は、大量生産、物流に拠って、長い間流通価格が底を突いています。大手卸売事業者の再編が進む中で、昨年来、コロナウイルス蔓延に拠る環境変化を受ける事となりました。2021年初頭からの食糧（主に原料）の国際価格も一気に高騰し、流通価格も一気に上昇しています。大量物流による弊害（食品ロスへの取組み）、脱炭素-SDGs社会を志向した、地産地消への取組みが一気に加速しています。今後は私も地域食品卸売業者も、ゼロベースでこの変化に対応して課題に対峙することによって、事業再構築を図って参ります。
卸・小売業	コロナ禍で昨年は巣籠り需要による売上高の増加があったが、その分今年は厳しい。ドラッグストアの出店が止まらず、食品スーパーに与える影響は大きい。 イオン系の食品スーパー「マックスバリュ-」がよいよ福井県に出店してきた。これからますます食品スーパー業界は激戦になるだろう。
卸・小売業	コロナが落ち着くにはあと1年位かかり、インフルエンザのような扱いになると予想している。国、県、市の景気対策のクーポンなどがなくなった時にどのような販促を実施するかが課題です。
卸・小売業	半導体の影響により、新車の入荷の見通しが立たず。 受注残は過去最高が続いているが、納車までの期間が不明すぎて、今後、キャンセル等も増加する懸念がある。
卸・小売業	生産拠点の一時稼働停止による新車入庫の遅れが懸念される。
卸・小売業	コロナ禍が一日も早く落ち着いて、世の中が落ち着いた生活に戻って欲しい。
各種サービス業	コロナの影響が前年と比べたら少ないが、まだまだ続いている。今後しばらくは影響を受けそう。
各種サービス業	ホテル、飲食業はコロナ感染者数の動向に影響を受け易く、業況（需要）が戻ってきたと明るい兆しが見え始めたかと思えば、一転してキャンセルが出るなど、先行きを見通すことが難しい状況です。コロナワクチン接種は進展していますが、デルタ株によるブレイクスルー感染も見られ、また、ラムダ株の国内流入など、当初描いていた回復シナリオとは違った様相を呈しています。今は、引き続き来るべき需要回復に向け、出来ることを行い、耐え忍ぶ時だと感じています。

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ③

業種	自由意見
各種サービス業	コロナの感染状況により人流が変わるので先が読めない。
各種サービス業	年内、又は、来年初めに、一店舗移転予定。
各種サービス業	SCの来館者は確実に減少している。人の動きが自由にならないと、衣料、雑貨などの消費に人は回って来ないと思う。
各種サービス業	LME(ロンドン金属取引所)や、国内各製鋼所の買入れ価格に大きく左右されるので、やりにくい業界で生き残り策を日々更新し、純利益を増加させたい。 昨年同期の比較では、本年のスクラップ価格は大幅増の反面、急激な低下があってもおかしくない状況なので、慎重な判断を要する昨今である。
各種サービス業	コロナ禍の収束見通しが立たず、見直し困難。
各種サービス業	北陸新幹線関連の荷役は7月で終了。福井港での荷動きを見ていると、好調・不調の企業が二極化しているように感じる。好調な企業は少ないと考える。物流倉庫の動きも今ひとつ“パツ”としない。コロナ禍で、労働者全体の士気低下もあるのではないかと。コロナ収束の出口が見えてくるまで、このような状況が続くと予想します。
各種サービス業	コロナ禍との共生を前提に（強力なワクチン接種推進をはかり）、早期に経済重視への舵を切って欲しい。今後の新型感染に備え、医療業界の体質改善(緊急時の体制等)をはかって欲しいものです。
各種サービス業	長引くコロナ禍により、社内にも不況感が漂っている。
各種サービス業	利用者はコロナ禍前に戻つつあるが、一部の動きは鈍い。高齢者の外出自粛がまだまだ続いているものと思われる。郡部の人口減少もあり、利用者が減少している。
各種サービス業	コロナの影響が続いております。雇用調整助成金の年度内の（特例の）延長を望みます。
各種サービス業	春に事業承継した福井市の会社との合併と新規にバス事業の開始を来期(10~12月)に予定しておりますが、全く先の見通せないコロナ禍であり、観光需要の回復時期を予想しながらの事業展開となります。
各種サービス業	2019年2月決算で主要事業で最高売上を記録した。その後、北陸新幹線工事等大規模長期案件が終了し、10月末まで大きな端境期に入った。そこにコロナの影響等で、建設資材の流入不足により足元の現場が動かず、市場が低迷していると思われる。中期的にリース商品を大幅に増強してきたため、新しい購入がとても少なく済む。経費面でも支出は大きく減少する。今後は落ちた稼働率を上げていく策を打っていかねばいけない。
各種サービス業	緊急事態宣言が出たことが残念。